

飛島村公共交通に係る 住民アンケート調査結果について

令和元年 12 月

<目次>

住民アンケート調査結果について	1
1 調査概要	1
(1) 実施概要	1
(2) 結果概要	2
2 調査結果	4
(1) 属性	4
(2) 外出の頻度や目的について	8
(3) 日常の移動に対する意識について	18
(4) バス等の利用実態とその満足度について	21
(5) 飛島村の公共交通（バス）事業について	27
(6) 飛島バス等を「まったく利用しない人」への設問	38
(7) 公共交通の転換見通しについて	41

住民アンケート調査結果について

1 調査概要

(1)実施概要

飛島村地域公共交通網形成計画に基づく地域公共交通施策に対する村民のニーズと、地域公共交通の利用状況等を把握するため、村民向けアンケート調査を実施した。

○住民アンケート調査概要

調査対象	公共交通（バス）に関する住民アンケート調査 村内在住の15歳以上の住民から無作為で抽出
調査方法	郵送配布 郵送回収方式
調査期間	2019年9月6日（金）配布 9月24日（火）回収 （10月7日（月）到着分まで対応）
標本数 回収率	配布数：1,500 票 回収数：687 票 回収率：45.8%
アンケート 項目	問1：アンケート対象者の属性 問2：外出の頻度や目的 問3：日常の移動に対する意識 問4：利用実態と満足度 問5：公共交通（バス）事業に対する意向 問6：利用しない人の理由と利用見通し 問7：公共交通への転換見通し

(2)結果概要

○公共交通の利用実態（頻度）（問 4 - 1） （p22）

- ・飛島バス等の「利用頻度」について、「ほとんど乗らない」人が **58.4%**存在するものの、「年に数日」といった頻度の少ない人も含めて、利用している人は **38.4%**存在している。
- ・**2013** 年時点の調査結果との比較では、「ほとんど乗らない」人が **66.9%**から **58.4%**、**8.5%**減少し、公共交通を利用するように変化した。着実に地域公共交通の利用拡大が図られている。
- ・ただし、主に利用する公共交通は、「飛島バス（蟹江線）」が **93.9%**を占める。

○現状のサービス水準に対する満足度（問 4 - 2） （p24）

- ・現在の公共交通のサービス水準に対する満足度は、「利用していないからわからない」との回答が **30.1%**存在する一方で、「満足・おおむね満足」が **19.5%**に対し、「やや不満・不満」が **34.2%**となっており、満足より不満を選択する割合が多い。
- ・**2013** 年の調査時点の満足度は、「満足」**3.8%**、「おおむね満足」**13.6%**、「やや不満」**19.1%**、「不満」**14.2%**であり、今回の調査結果とほとんど変わらない。

○生活環境に与える変化について（問 5 - 1） （p27）

- ・飛島バス等の導入により、生活環境に対する変化の状況については、「何もかわらない」が **38.4%**と最も多かった。
- ・その一方で、「便利になった」が **23.4%**、「安心感を持つことができた」が **15.6%**、「移動の公平性が確保された」が **6.1%**の割合で選択された。
- ・これら何等かの効果があった割合（小計）は **45.1%**で、何も変わらないとの回答者を上回る結果となった。
- ・**2013** 年の調査時点の効果割合は、「便利」**24.9%**、「安心感」**11.8%**、「公平性」**5.3%**、小計 **42.0%**であり、**3%**ほど効果割合が増加した。

○村の財源の投入に対する評価について（問 5 - 3） （p32）

- ・村の財源の投入に対する評価としては、「妥当」との回答が **40.3%**と最も多いものの、「多すぎる」「やや多すぎる」の小計が **45.4%**となり、飛島バス等に対する投入額は多いとする村民は多い。
- ・**2013** 年の調査時点では、「妥当」**34%**、「多すぎる」**20.4%**、「やや多すぎる」**33.9%**であり、「多い」との回答が **54.3%**で過半数が多いと回答していた。当時と比較すると、財源の投入に対しては、妥当とする回答が増え、事業維持に対する理解が高まっている。

○今後の村の財源の投入と公共交通サービス水準のあり方について（問 5 - 5） （p36）

- ・村の財源の投入とサービス水準のバランスのあり方については、「現状は妥当である」が **27.4%**となり、**2013** 年時点の **23.8%**の水準より、高い割合となった。
- ・その一方で、「今以上の村の財源の投入・サービス向上」を **20.4%**の割合で選択され、**2013**

年時点の 10.5%を、大きく上回る結果となった。

- ・2013 年時点との比較では、「妥当」が 3.6%増加している一方で、「抑制」の選択割合が減り、「村の財源の投入拡大」が 9.9%増加していることから、財源投入によるサービス水準の拡大を期待する声が増えている。

○早朝の時間帯の混雑解消のための増便の必要性について（問 5 - 6） （p37）

- ・早朝の時間帯の混雑解消・増便の必要性について、蟹江線については、「増便させるべき」との回答が 37.3%の割合で選択された。「運賃値上げを条件に増便させるべき」との回答割合 16.0%を加えると、過半数の住民が蟹江線の増便を賛同している。
- ・名港線については、「わからない」が過半数（52.8%）を占めており、蟹江線と対比すると、利用者も少なく生活に直結しないため、増便に対する意見は賛同が得られにくい結果となった。

○現状公共交通を利用しない人の将来の利用転換見通しについて（問 7 - 1） （p41）

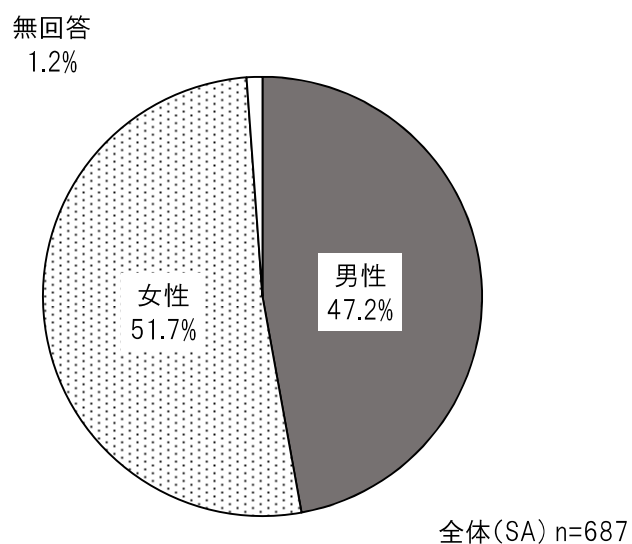
- ・利用転換の見通しについては、「現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う」（22.6%）よりも、「たまにならできる（16.2%）」「将来、年をとったらできると思う（44.0%）」の回答があわせて 60.2%となり、転換する可能性はある。
- ・2013 年時点との比較では、「現状の状況ではできない・変わらないと思う」との回答が 31.7%から 22.6%に大きく減少しており、より利用転換できる環境に変化したと言える。

2 調査結果

(1)属性

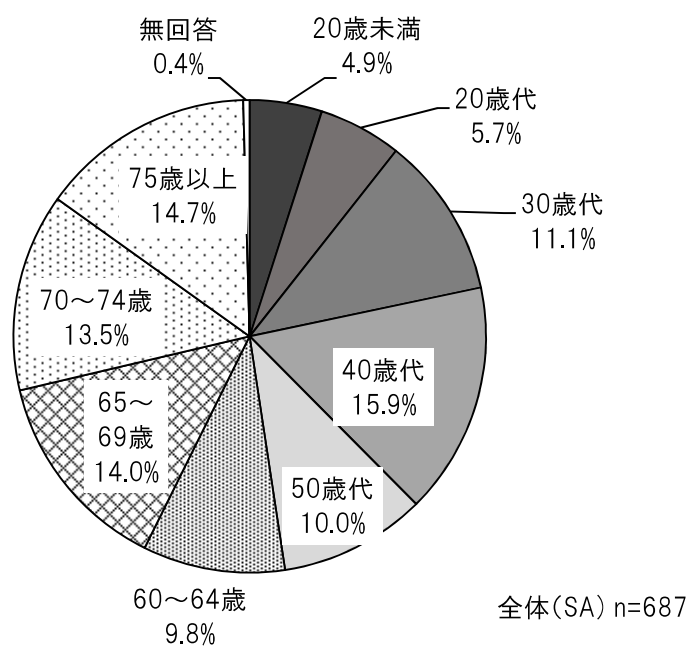
①性別

- ・回答者の内、男性が **47.2%**、女性が **51.7%**であり、女性の方が多い。

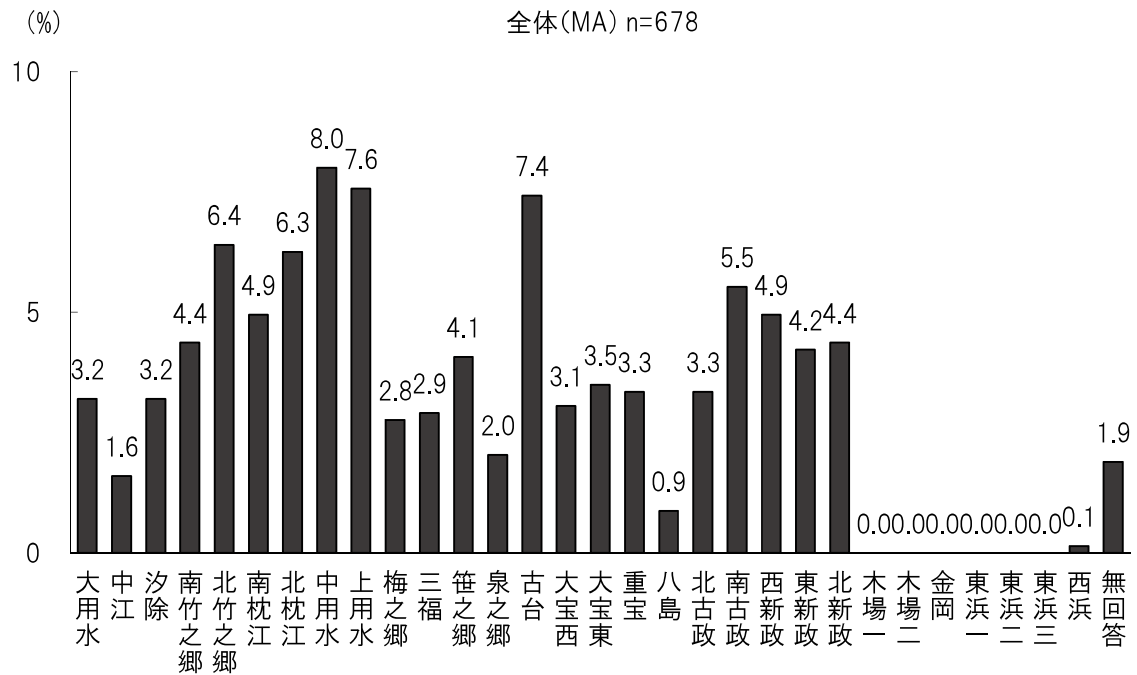


②年齢

- ・回答者の年齢構成としては、**60歳代**が **23.8%**、**70歳以上**が **28.2%**となっており、**60歳**以上の年代の回答割合が他世代よりも多い。

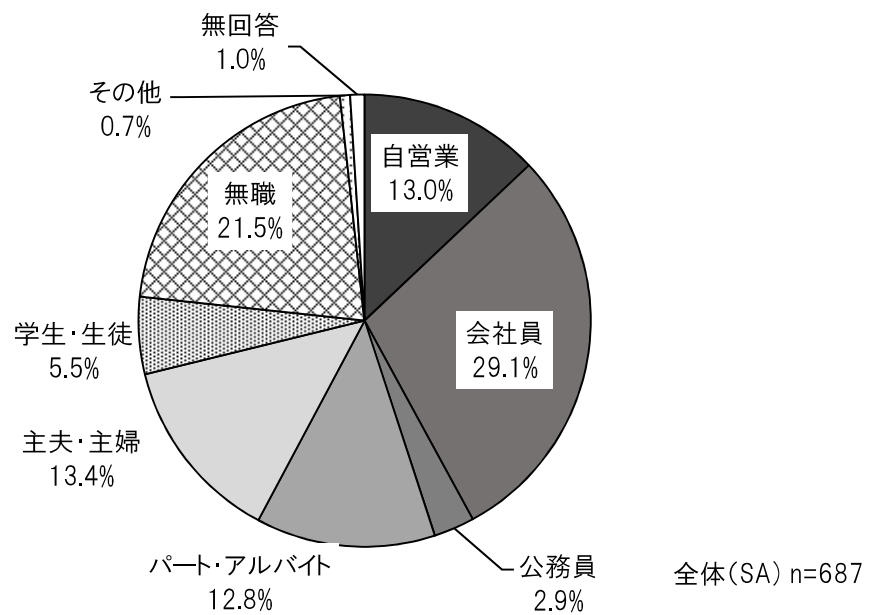


③住まい



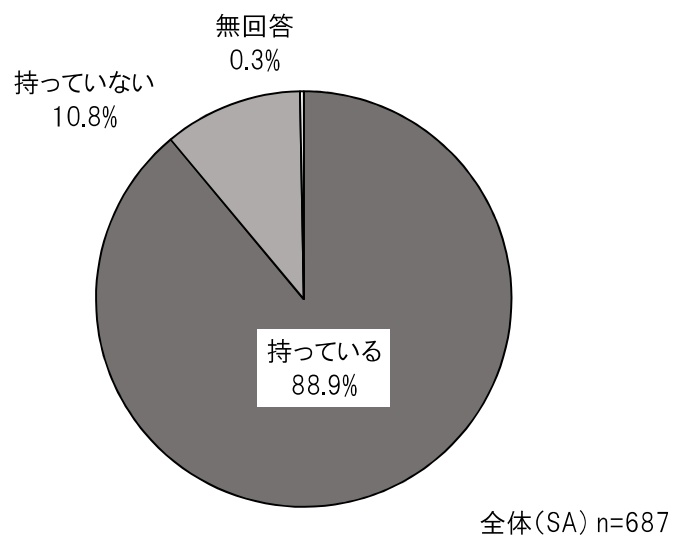
④職業

- ・会社員の割合が 29.1%と最も多く、次いで無職 21.5%、主夫・主婦 13.4%となっている。



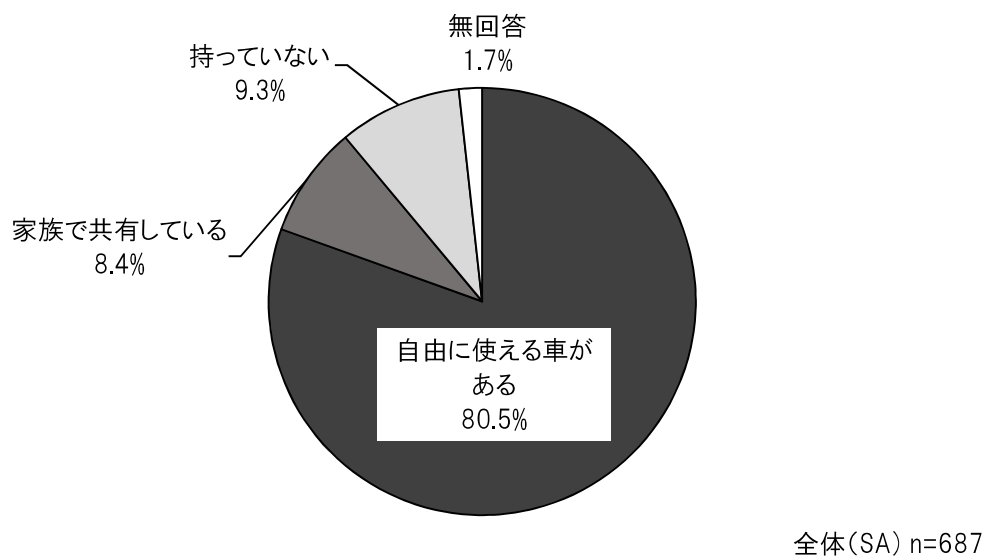
⑤自動車運転免許証の所有

- ・免許証の保有状況として、「持っていない」人の割合は **10.8%** だった。



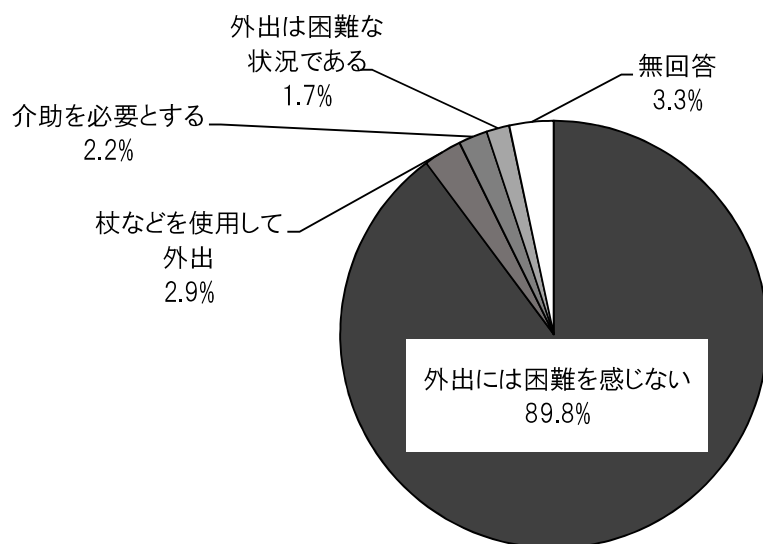
⑥自家用車の所有

- ・「自家用車を持っていない」人は **9.3%** だった。



⑦通勤・通学を含む外出について

- ・外出に対する困難な状況の有無については、「困難を感じない」が 89.8%に対して、6.8%が外出に対する抵抗感を感じている。

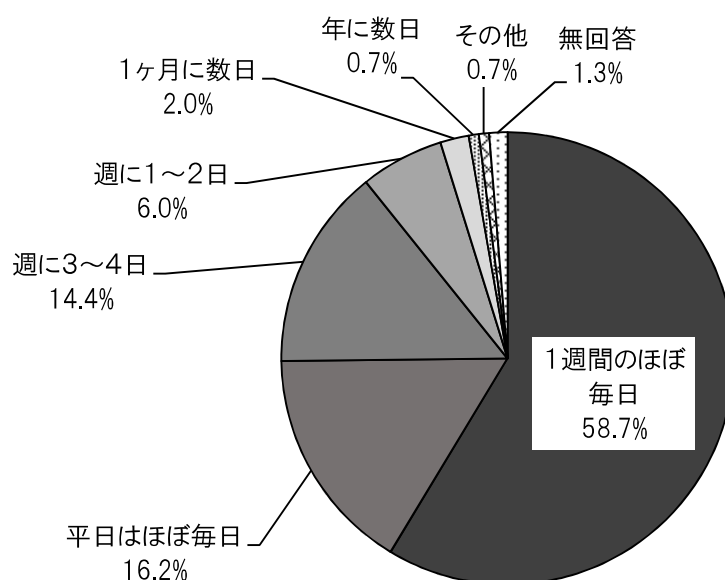


全体(SA) n=687

(2)外出の頻度や目的について

問 2 - 1 あなたは、どの程度の頻度で「外出」しますか。(1つに○)。

- ・回答者の外出頻度は、「平日はほぼ毎日」以上の人が **74.9%**の割合となっている。

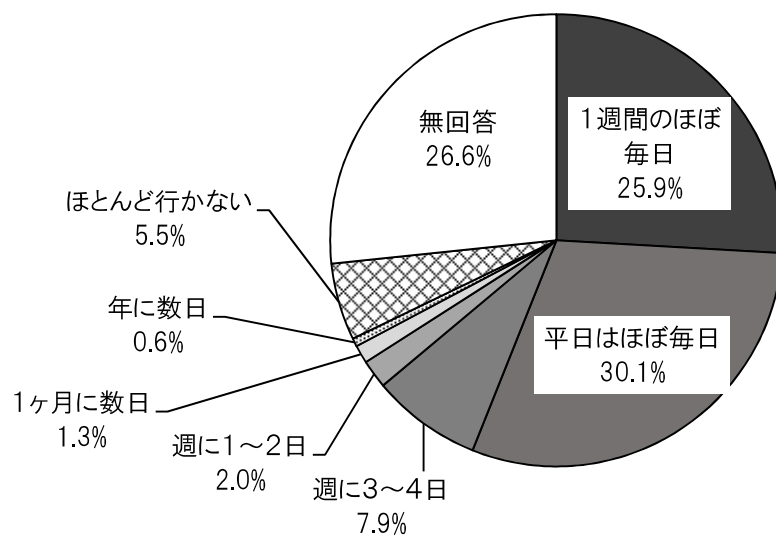


全体(SA) n=687

問 2－2. 「通勤・通学」「買い物や娯楽」「通院」の時の、それぞれの最も行く目的地について、頻度、交通手段、名前・場所、外出の時間帯を教えてください。（「通勤」には、自営・農業等を含みます）

【通勤・通学の頻度】

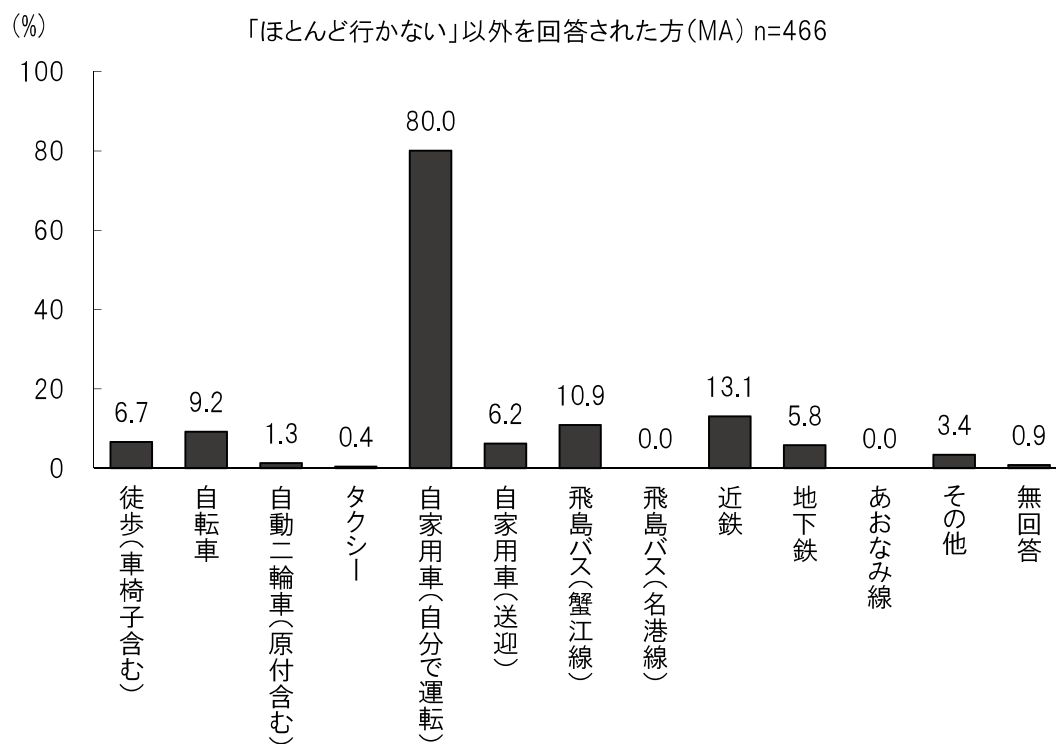
- ・通勤・通学時の頻度は、無職等の無回答者 26.6%（n=183）を除くと、76%が「ほぼ毎日」外出している。



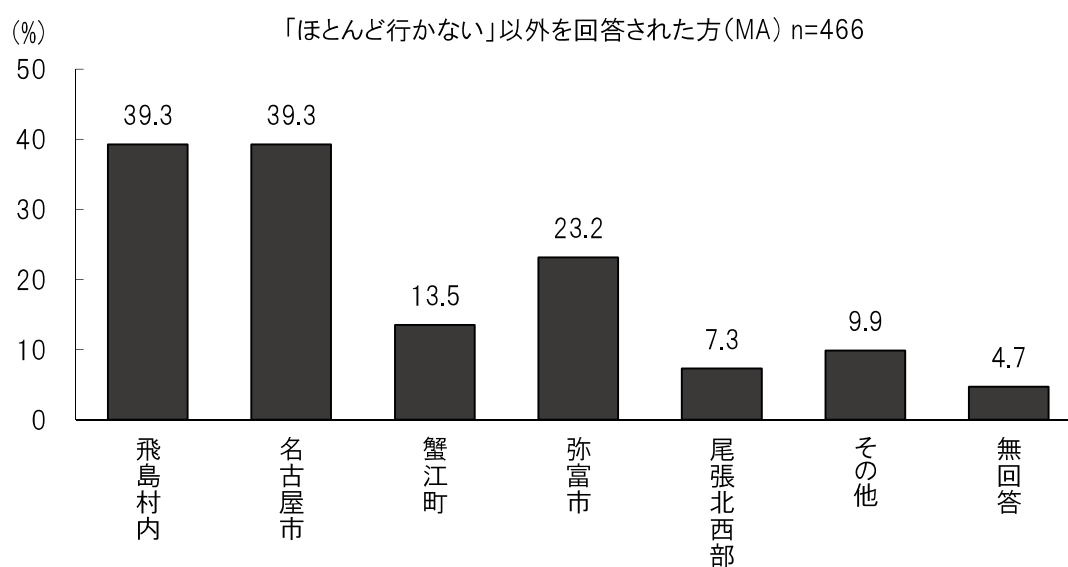
全体(SA) n=687

【通勤・通学の交通手段】

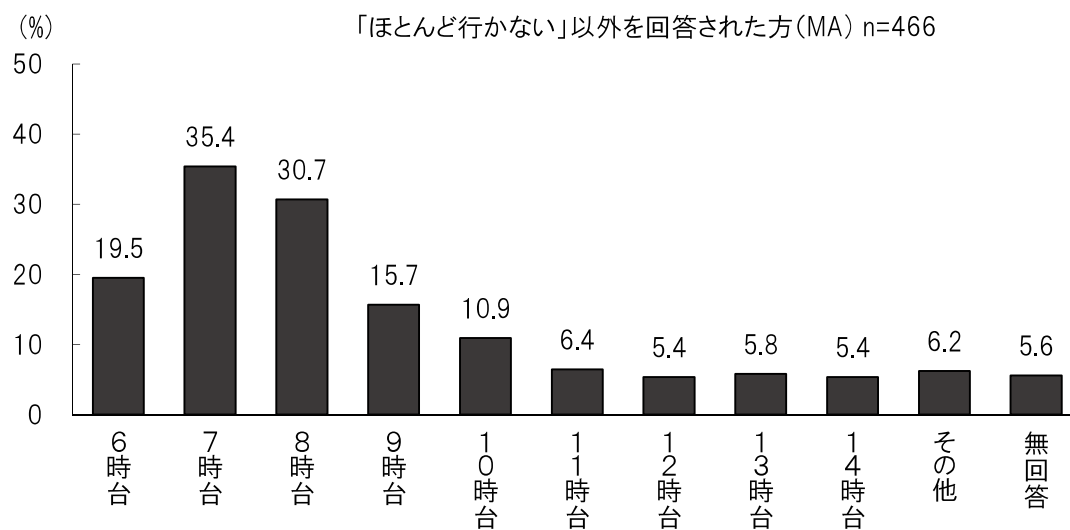
- ・通勤通学時の「飛島バス（蟹江線）」の利用割合は、**10.9%**となっている。



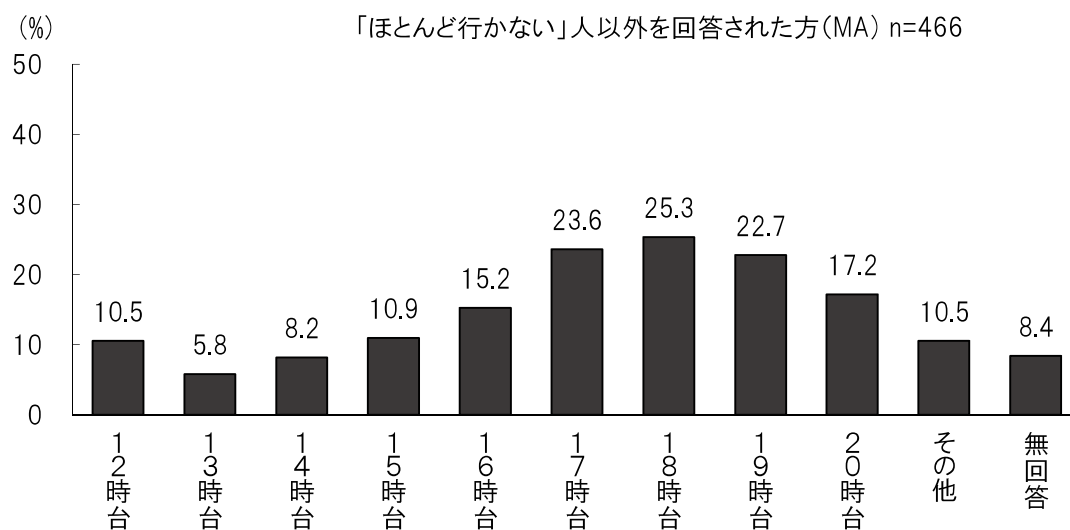
【通勤・通学の目的地】



【通勤・通学の出発時間帯】

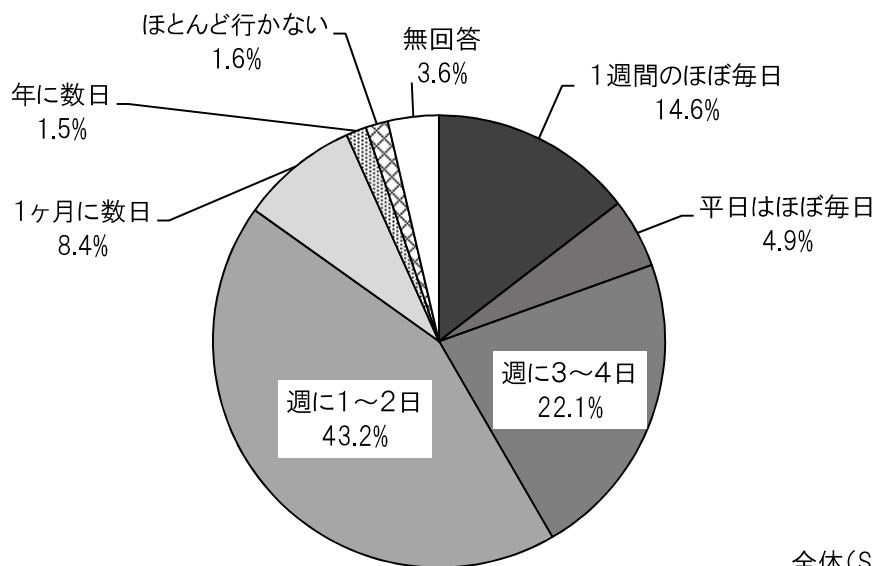


【通勤・通学の帰宅時間帯】



【買い物や娯楽の頻度】

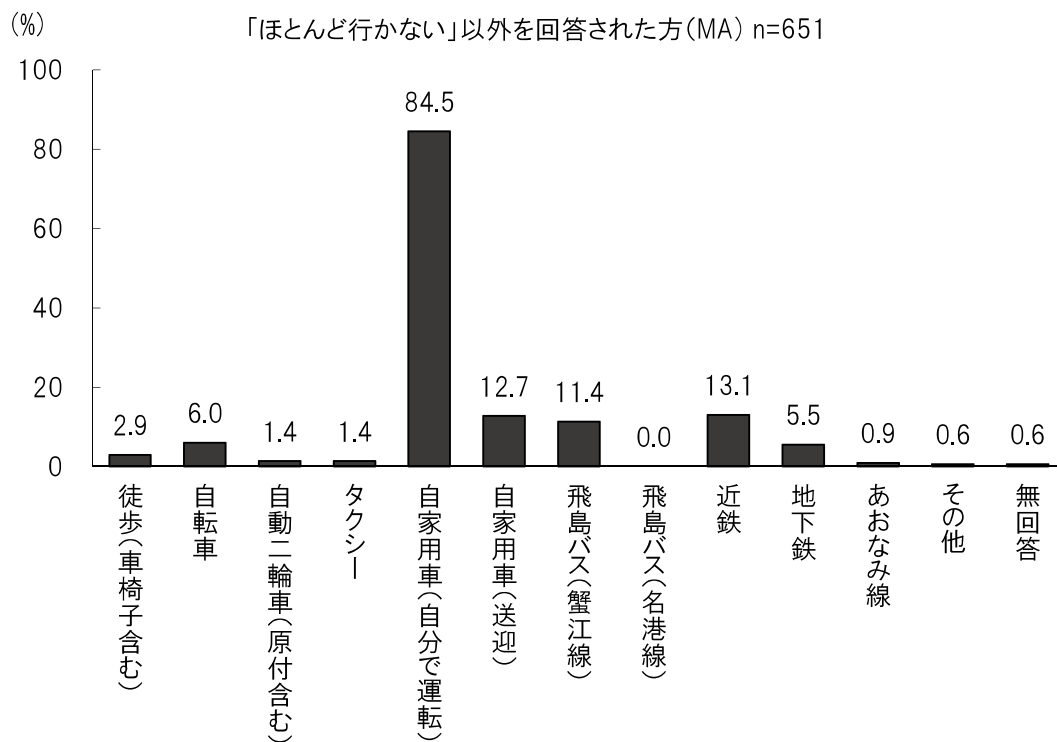
- ・買い物や娯楽の頻度は、「週に1～2日」が**43.2%**と最も多く、次いで、「週に3～4日」が**22.1%**となっている。



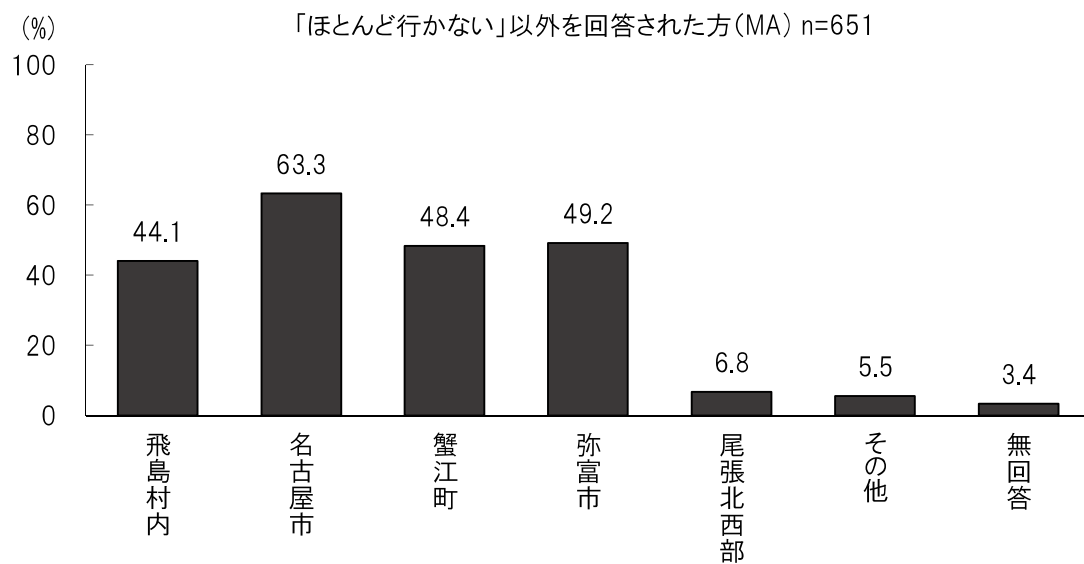
全体(SA) n=687

【買い物や娯楽の交通手段】

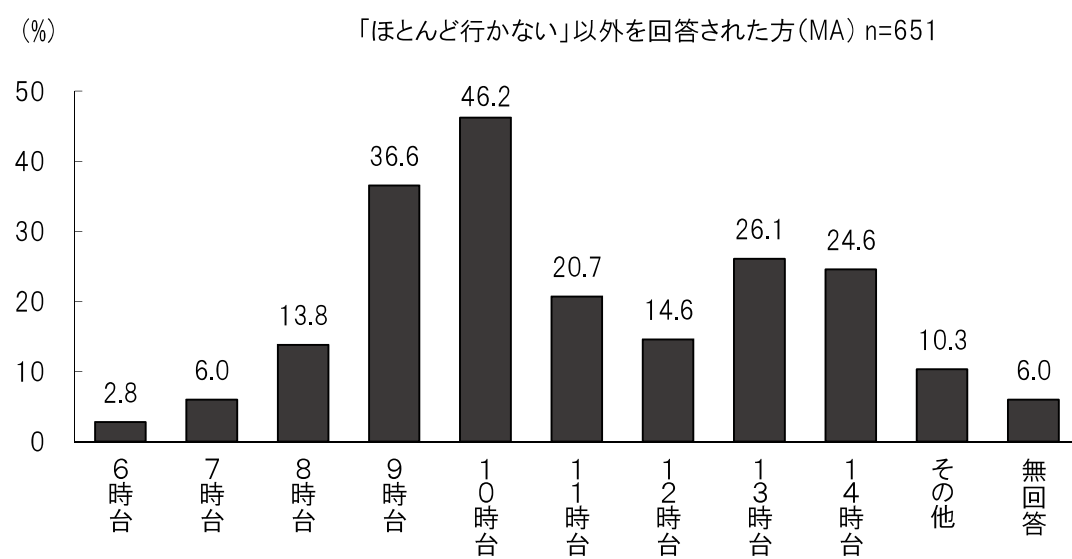
- ・買い物や娯楽時の交通手段として「飛島バス（蟹江線）」の利用割合は**11.4%**となっている。



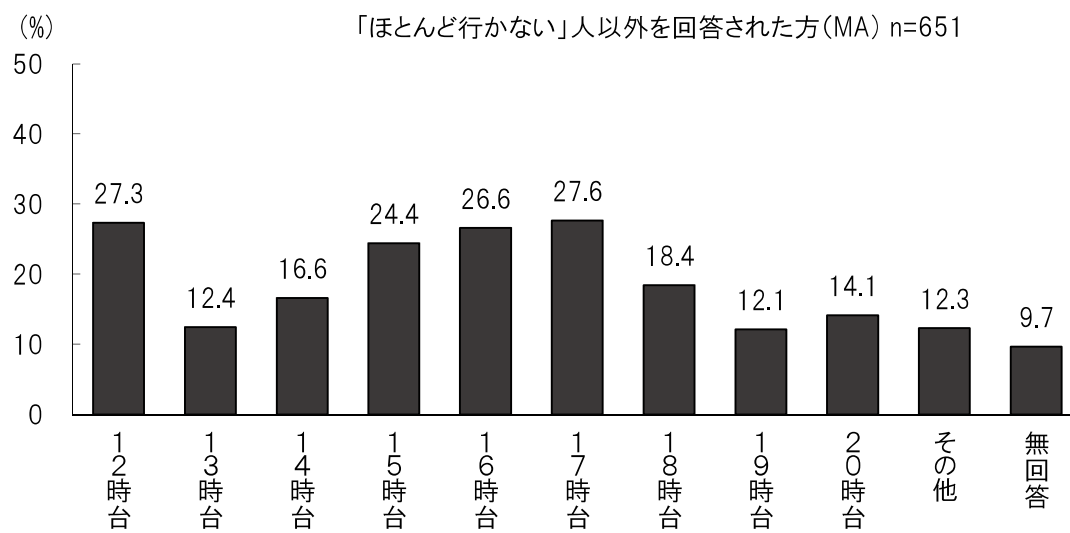
【買い物や娯楽の目的地】



【買い物や娯楽の出発時間帯】

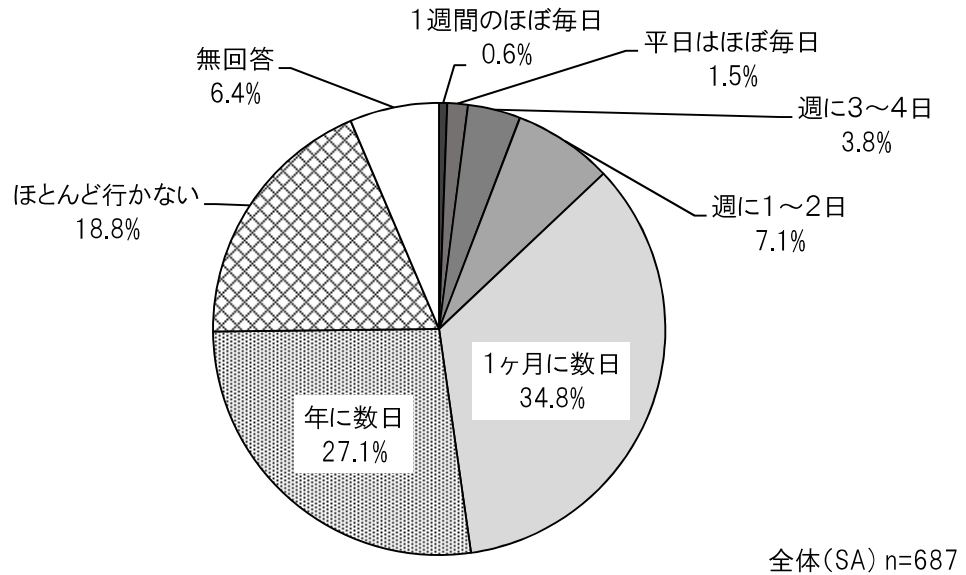


【買い物や娯楽の帰宅時間帯】



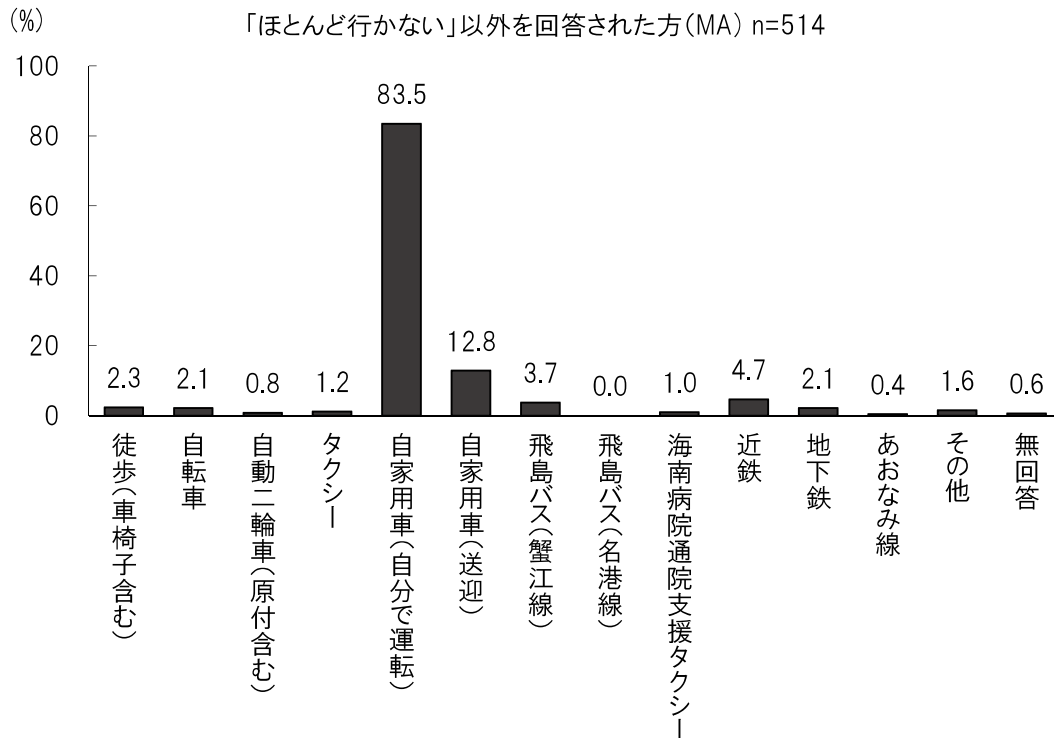
【病院や福祉施設の頻度】

- ・病院などを目的とした外出頻度は、「1カ月に数日」が **34.8%**と最も多く、次いで「年に数日」が **27.1%**、「ほとんど行かない」が **18.8%**となっている。

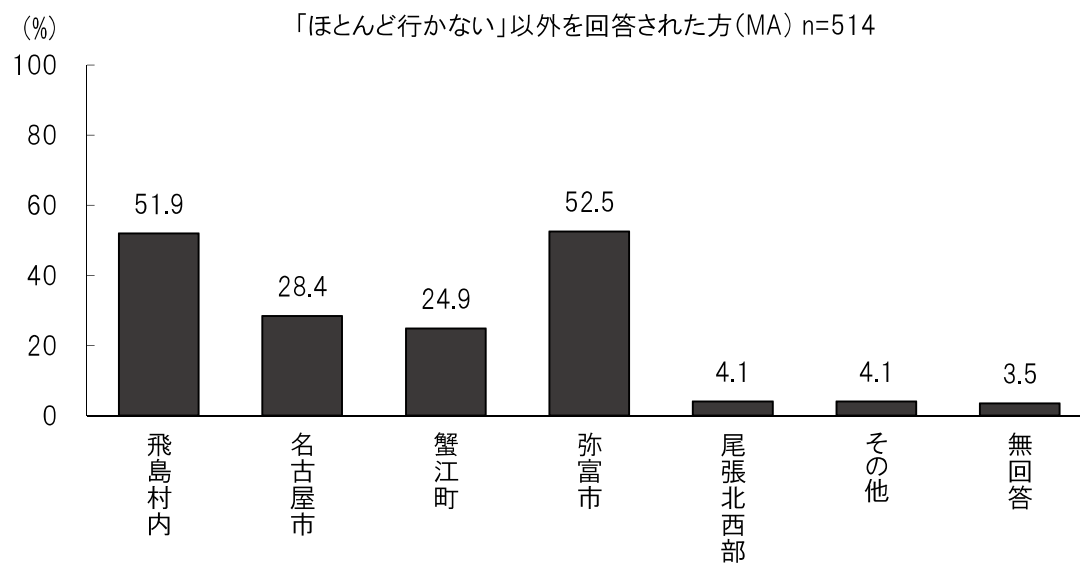


【病院や福祉施設の交通手段】

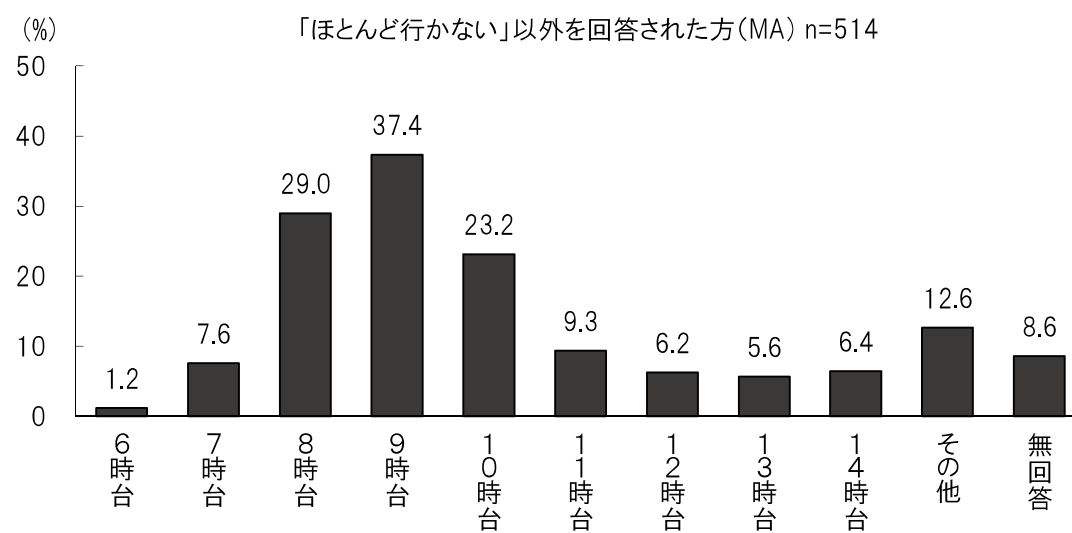
- ・病院等の外出時の外出手段は、「自家用車（自分で運転）」が **83.6%**と最も多い一方で、「海南病院通院支援タクシー」の利用が **1.0%**認められた。



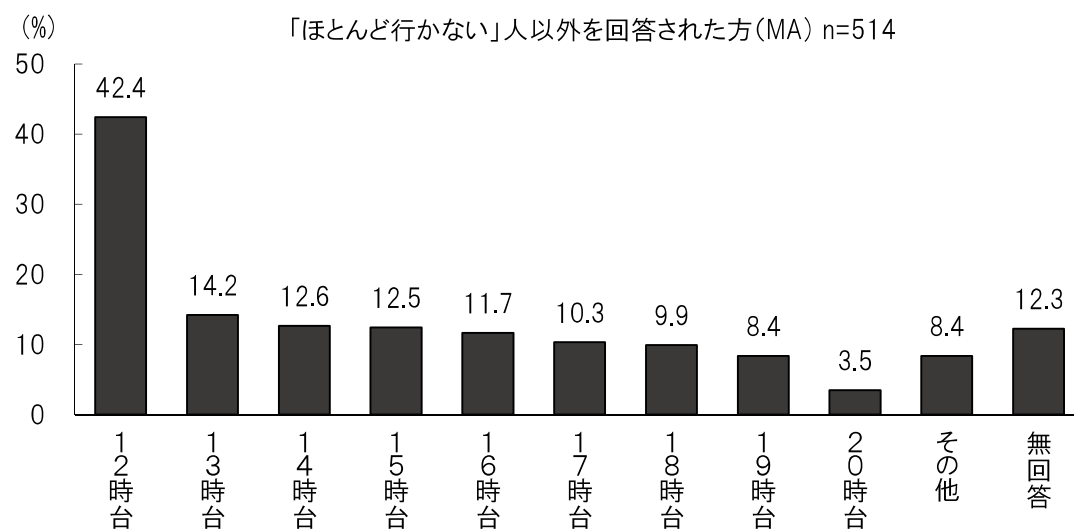
【病院や福祉施設の目的地】



【病院や福祉施設の出発時間帯】



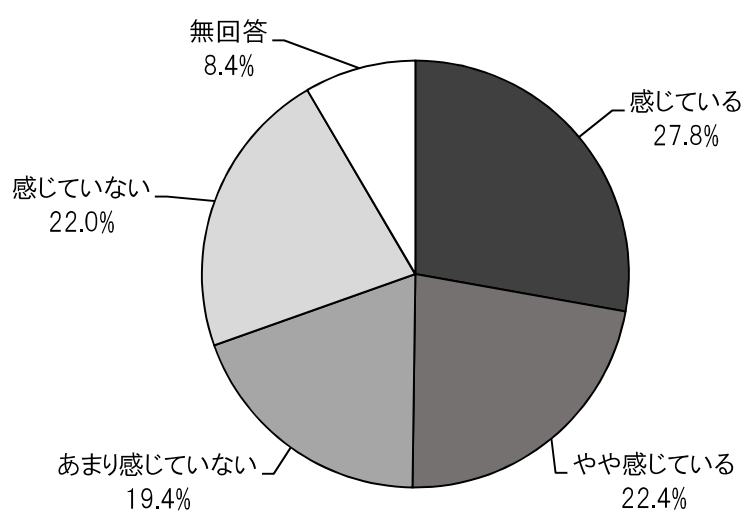
【病院や福祉施設の帰宅時間帯】



(3) 日常の移動に対する意識について

問 3 - 1. 日常の公共交通での移動に不便を感じていますか？（1 つに○）

- ・ 日常の公共交通での移動に「不便」を感じている人の割合は、「感じている・やや感じている」が **50.2%** となり、住民の約半数が、公共交通の移動に対して不便を感じている。

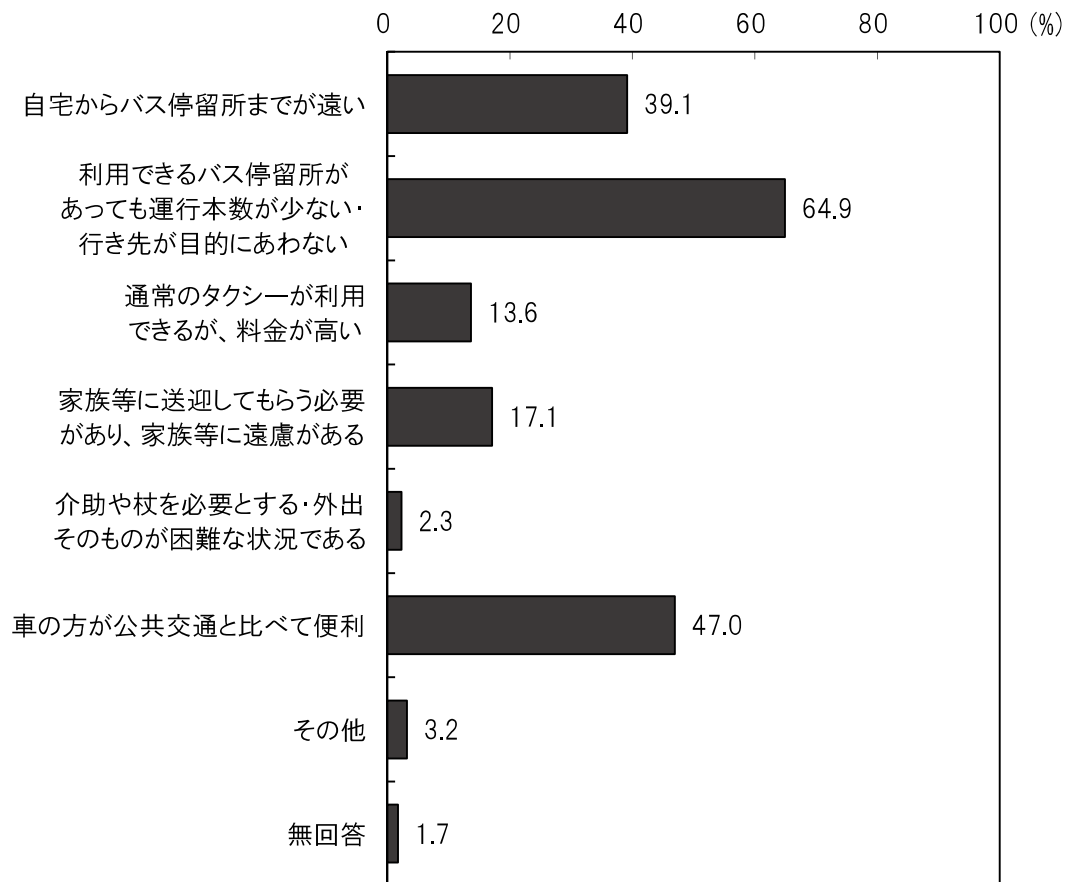


全体(SA) n=687

不便を感じる理由は何ですか？（3つまでに○）

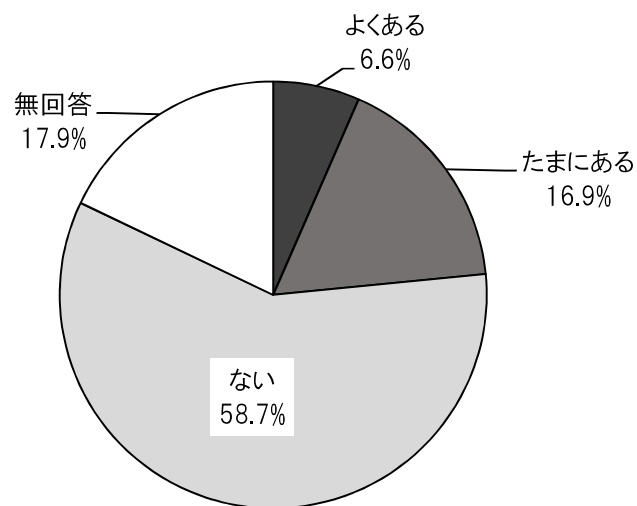
- ・不便を感じる理由は、「利用できるバス停留所があっても運行本数が少ない・行先が目的にあわない」を選択する人が **64.9%** ともっと多く、次いで「車の方が公共交通と比べて便利」（**47.0%**）が選択されている。

公共交通での移動に「不便を感じている」「やや感じている」と回答された方
(MA) n=345



問３－２．「公共交通（バス・タクシー）の停留所がない」または「利用しづらい」ために、外出を控えたことがありますか？（１つに○）

- ・公共交通が利用しづらいために、外出を控えたことがある割合は、「よくある」が 6.6%、「たまにある」が 16.9%となっており、23.5%の人が外出を控えたことがあると回答している。

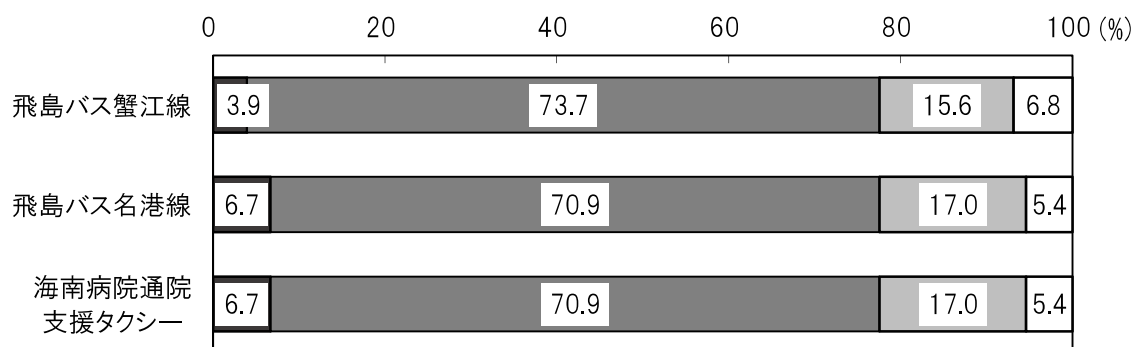


全体(SA) n=687

(4)バス等の利用実態とその満足度について

問４－１．飛島村内のバス等の公共交通の利用状況についてお伺いします。あなたは村内の公共交通について、知っていますか？

・公共交通の「認知度」については、「知らない」との回答が、15.6～17.0%存在している。

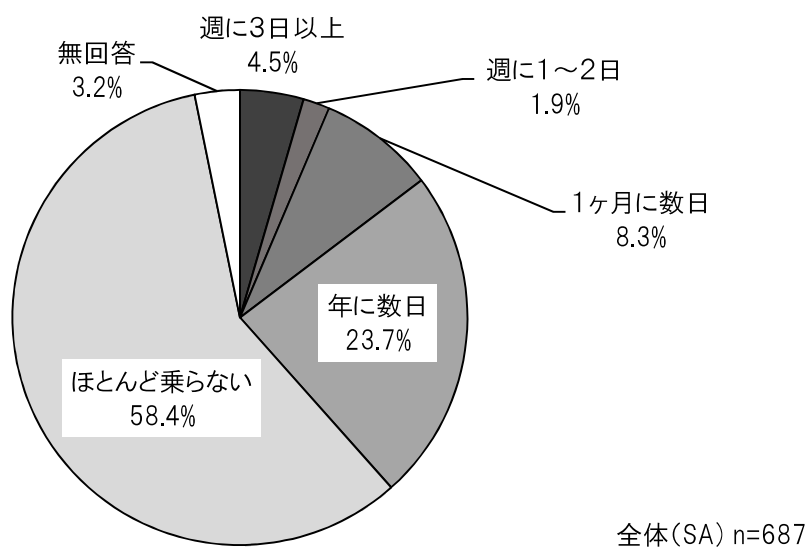


- 利用したことがあり、知っている
- 利用したことがないが運行していることは知っている
- 知らない
- 無回答

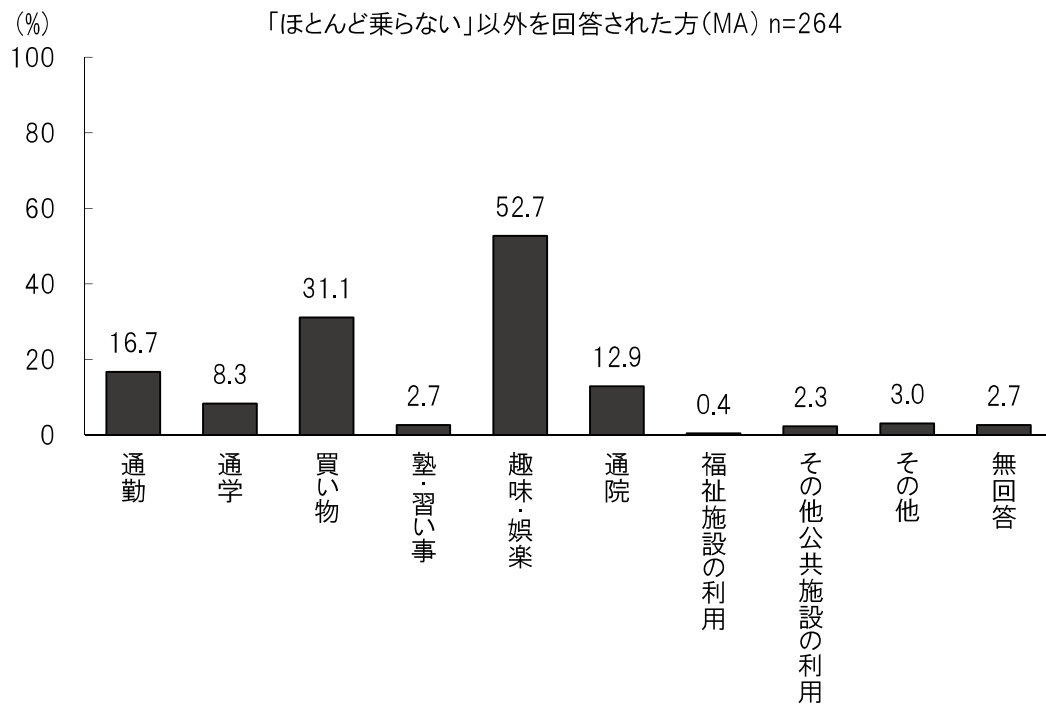
全体(SA) n=687

問 4－1. (2) あなたは村内の公共交通をどの程度利用されますか？（1つに○）

- ・飛島バス等の「利用頻度」について、「ほとんど乗らない」人が **58.4%**存在するものの、「年に数日」といった頻度の少ない人も含めて、利用している人は **38.4%**存在している。
- ・2013 年時点の調査結果との比較では、「ほとんど乗らない」人が **66.9%**から **58.4%**、**8.5%**減少し、公共交通を利用するように変化した。着実に地域公共交通の利用拡大が図られている。

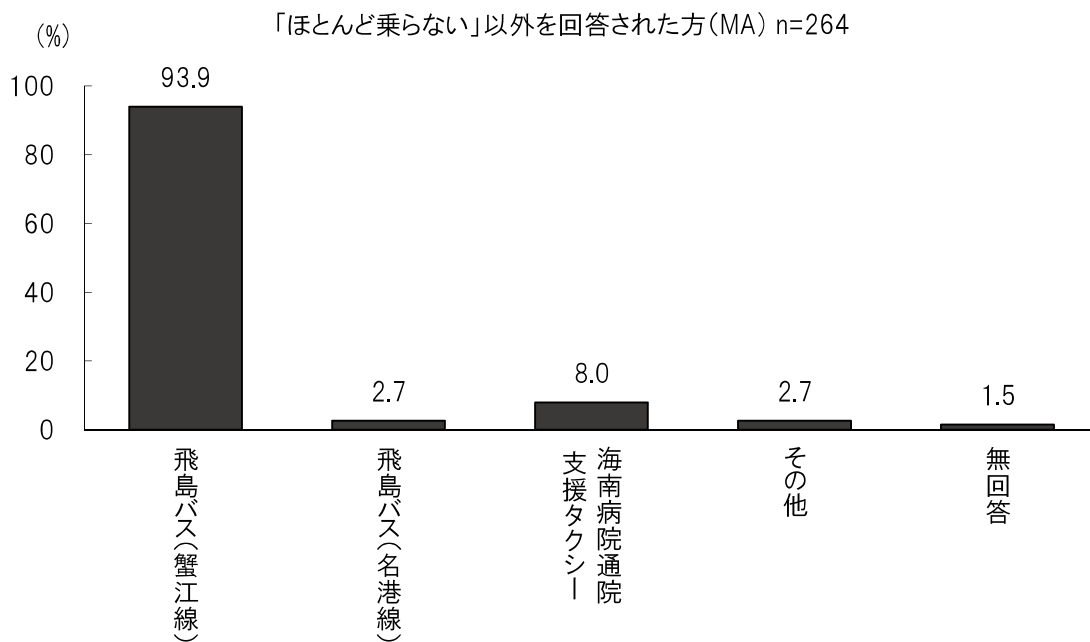


問 4－1. (3) 主な利用目的をお答えください。(2つまで○)



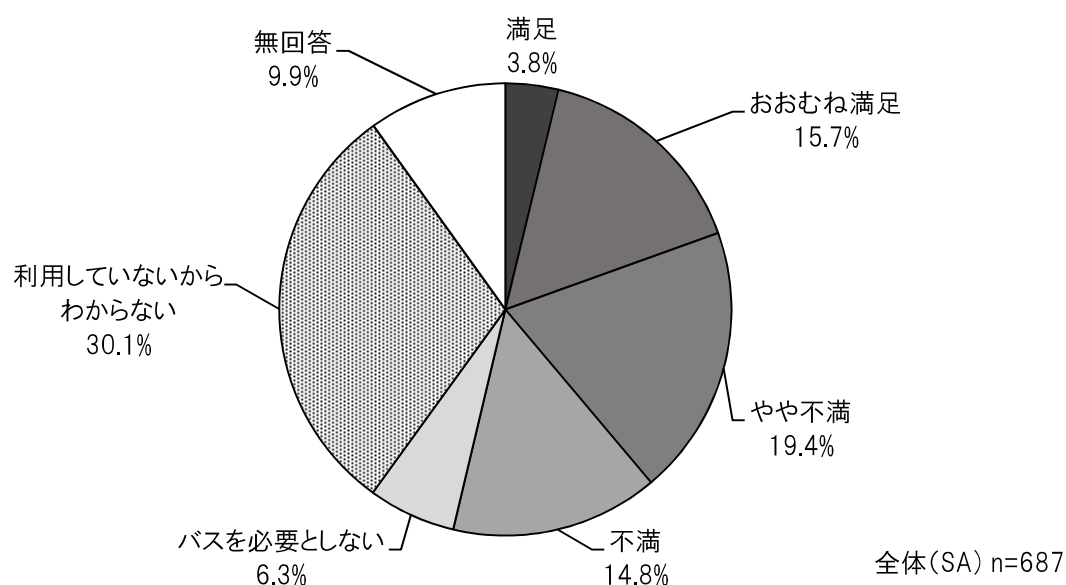
問 4－1. (4) 主に利用する公共交通をお答えください。(2つまで○)

- ・村民が「主に利用する公共交通」は、「飛島バス(蟹江線)」が **93.9%**であり、「名港線」は **2.7%**、「海南病院通院支援タクシー」は **8.0%**となっている。



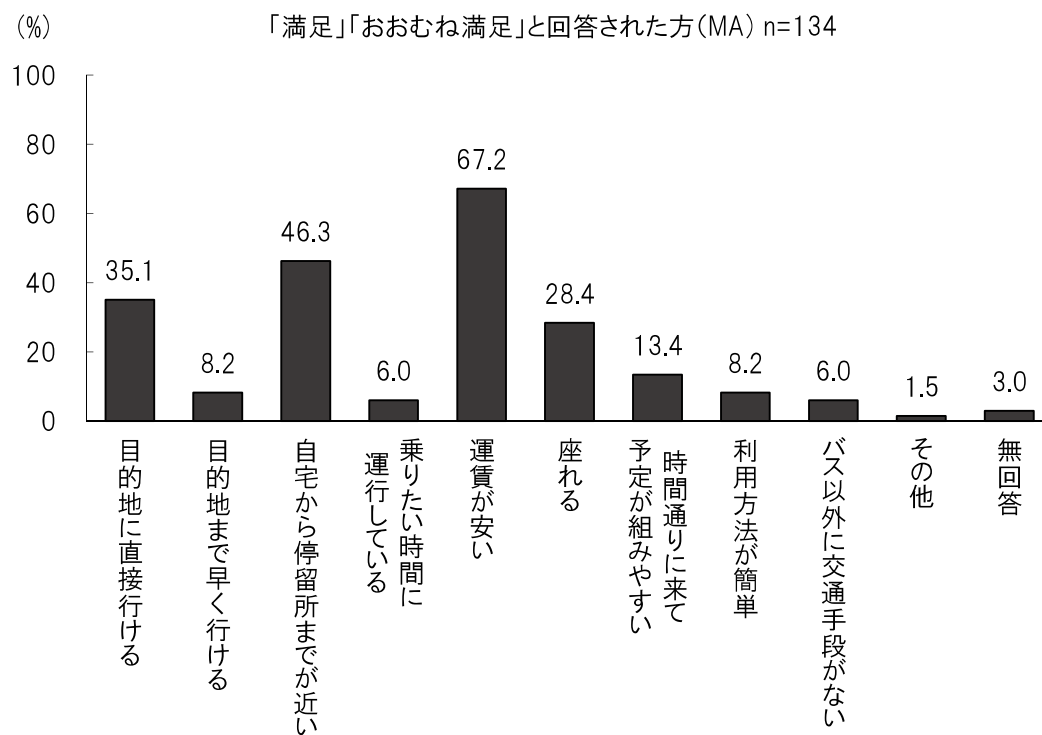
問４－２．現状の飛島村内の公共交通のサービス水準（運行本数、ルート等）について、満足していますか？（１つに○）また、その満足・不満の理由をお答えください。

- ・現在の公共交通のサービス水準に対する満足度は、「利用していないからわからない」との回答が 30.1%存在する一方で、「満足・おおむね満足」が 19.5%に対し、「やや不満・不満」が 34.2%となっており、満足より不満を選択する割合が多い。
- ・2013 年の調査時点の満足度は、「満足」3.8%、「おおむね満足」13.6%、「やや不満」19.1%、「不満」14.2%であり、今回の調査結果とほとんど変わらない。



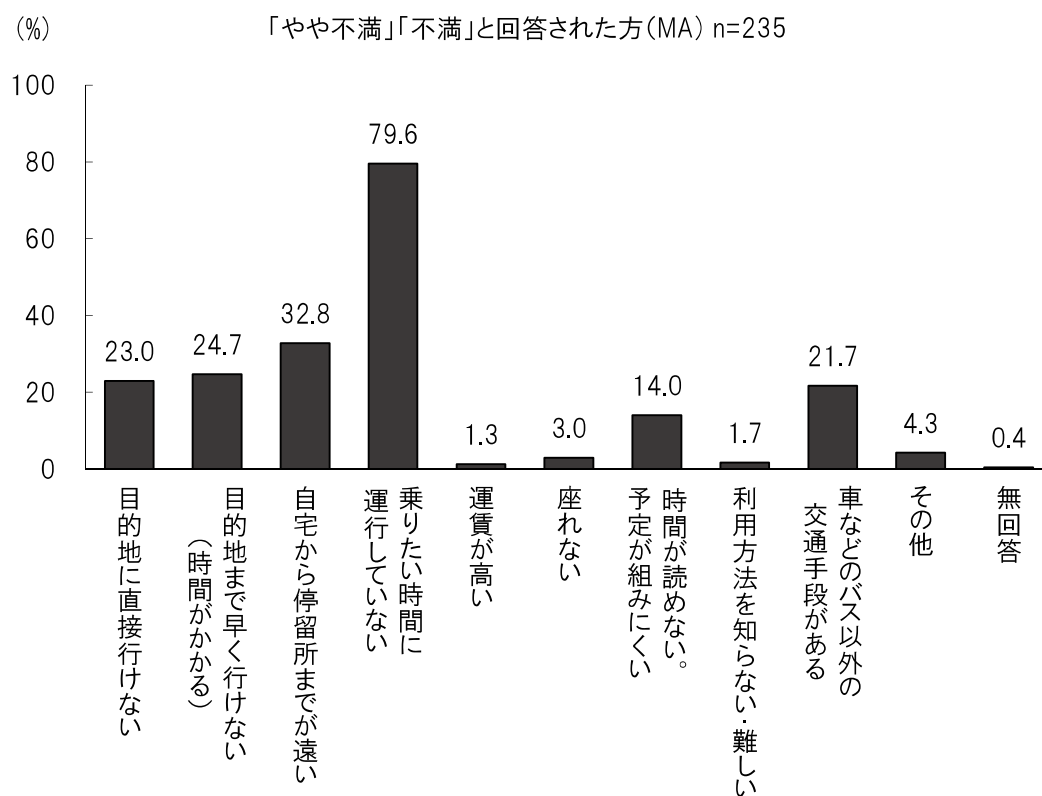
問４－２．満足な理由は？（３つまで○）

- ・満足を選択している人の「満足な理由」は、「運賃が安い」が **67.2%**と最も多く、次いで、「自宅から停留所までが近い」 **46.3%**、「目的地に直接行ける」 **35.1%**が選択されている。



問４－２．不満な理由は？（３つまで○）

- ・不満を選択している人の「不満な理由」は、「乗りたい時間に運行していない」が **79.6%** と最も多く、次いで「自宅から停留所までが遠い」**32.8%**、「目的地まで早く行けない（時間がかかる）」**24.7%**、「目的地まで直接行けない」**23.0%**が選択されている。



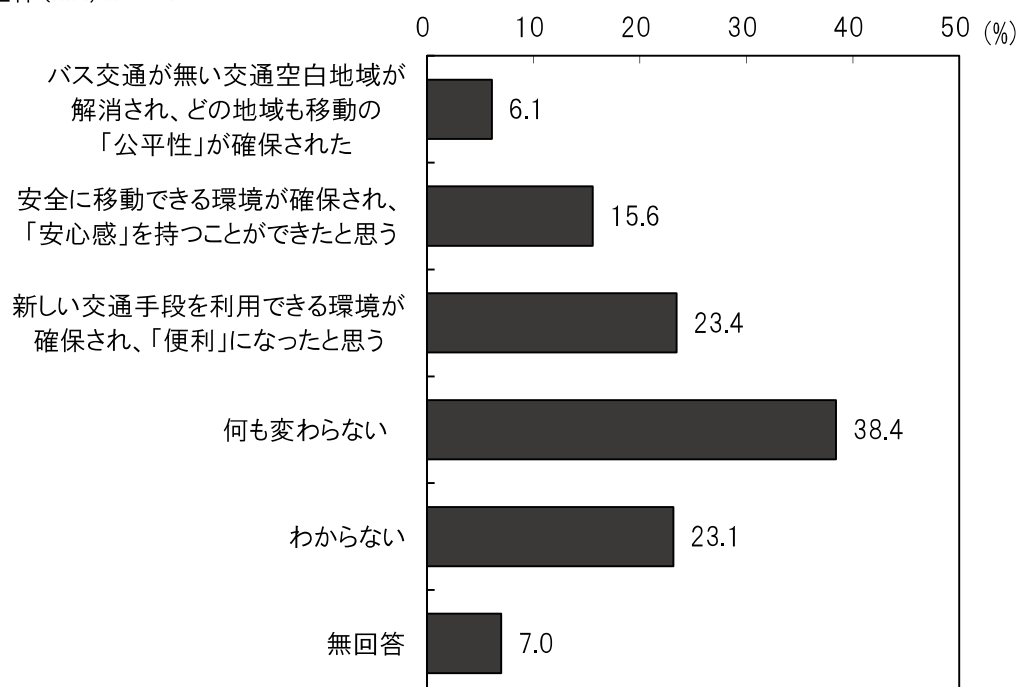
(5) 飛島村の公共交通(バス)事業について

問 5－1. 飛島村では平成 21 年から皆さまの生活の足としての「飛島バス（蟹江線・名港線）・海南病院通院支援タクシー（以下「飛島バス等」といいます。）」の運行を開始しました。

(1) 飛島バス等の運行により、あなたの生活環境について何らかの変化があったと思いますか。選択肢の中から、あてはまる番号を全て選んでください。（すべてに○）

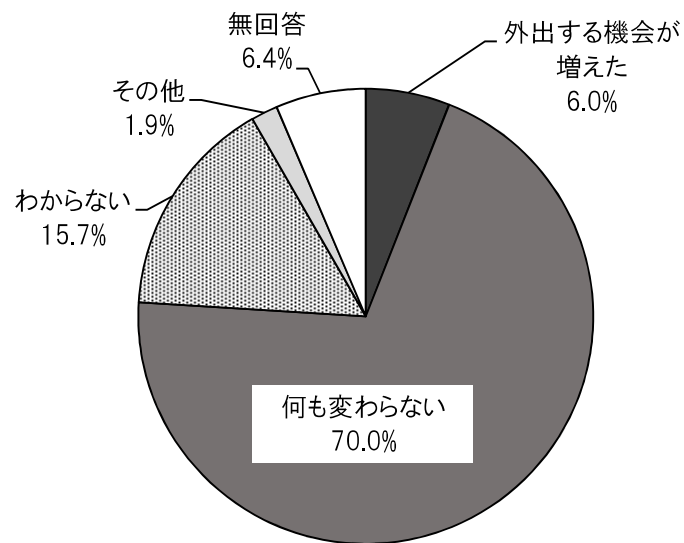
- ・ 飛島バス等の導入により、生活環境に対する変化の状況については、「何もかわらない」が **38.4%**と最も多かった。
- ・ その一方で、「便利になった」が **23.4%**、「安心感を持つことができた」が **15.6%**、「移動の公平性が確保された」が **6.1%**の割合で選択された。
- ・ これら何等かの効果があった割合（小計）は **45.1%**で、何も変わらないとの回答者を上回る結果となった。
- ・ 2013 年の調査時点の効果割合は、「便利」**24.9%**、「安心感」**11.8%**、「公平性」**5.3%**、小計 **42.0%**であり、**3%**ほど効果割合が増加した。

全体(MA) n=687



(2) 飛島バス等の運行をきっかけに、あなたの生活の中で、外出する機会が増えましたか。選択肢の中から、あてはまる番号を選んでください。(1つに○)

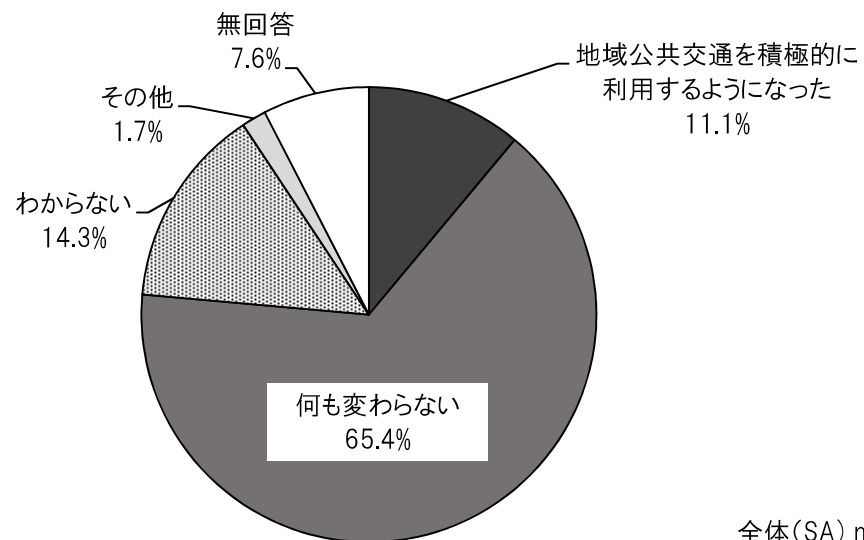
- ・外出機会の変化については、「何も変わらない」が70.0%と多いものの、「外出する機会が増えた」との回答が6.0%認められ、わずかではあるが、引きこもりの防止には効果が認められる。



全体(SA) n=687

(3) 飛島バス等の運行をきっかけに、あなたの生活の中で、移動手段・行動について変化がありましたか。選択肢の中から、あてはまる番号を選んでください。(1つに○)

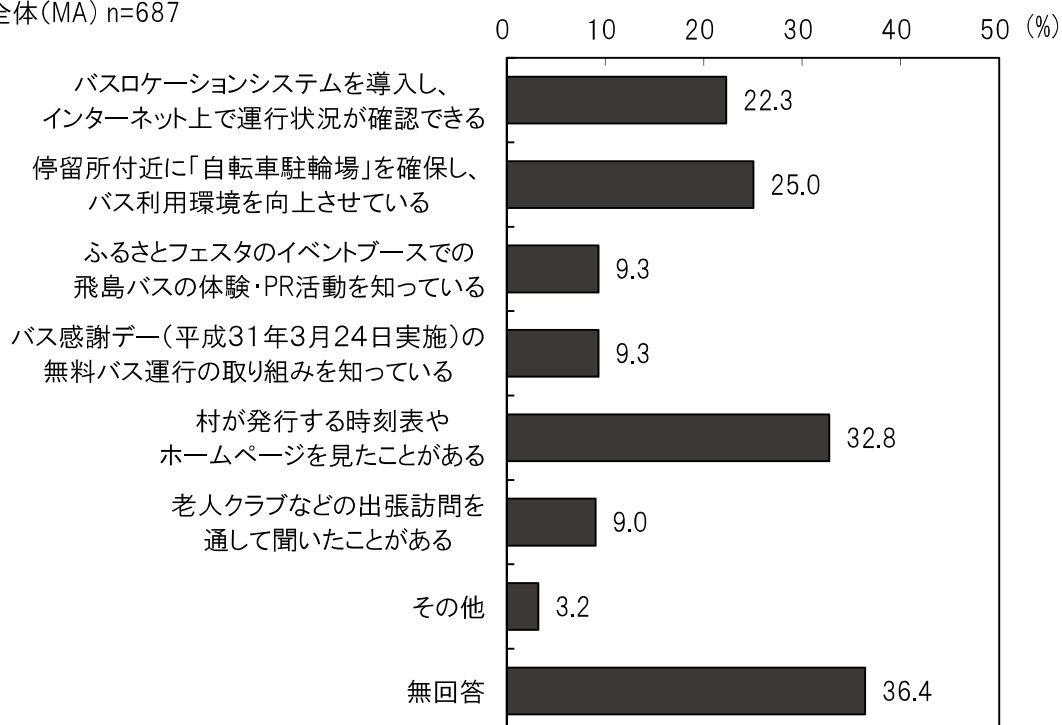
・移動手段・行動の変化については、「何も変わらない」が65.4%と多いものの、「地域公共交通を積極的に利用するようになった」との回答が11.1%認められた。



(4) これまで、飛島バス等の利用を促すために、村によりさまざまな取り組みを行ってきました。選択肢のなかで、知っている取り組みがありましたら、あてはまるものすべてに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

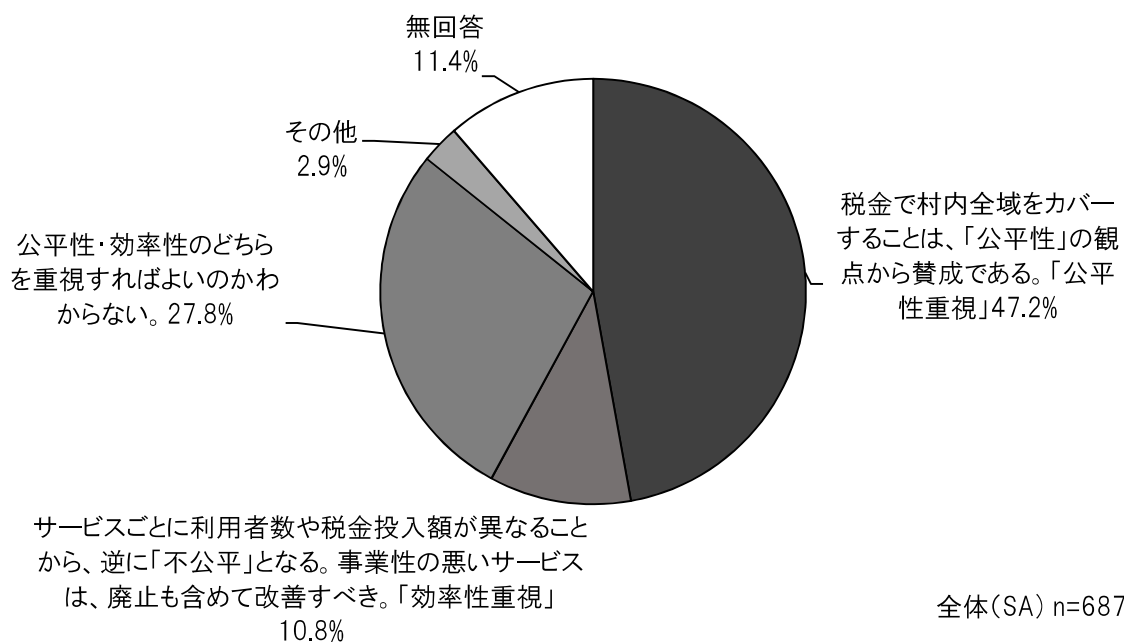
- ・取り組みに対する認知状況としては、「ホームページを見たことがある」が **32.8%**、「自転車駐輪場の整備」が **25.0%**、「バスロケーションシステムの導入」が **22.3%**の割合となっている一方で、「ふるさとフェスタのPR」「バス感謝デーの無料バス運行」「老人クラブの出張訪問」については、特定者への情報発信に限られることから、認知度は低い結果となった。

全体(MA) n=687



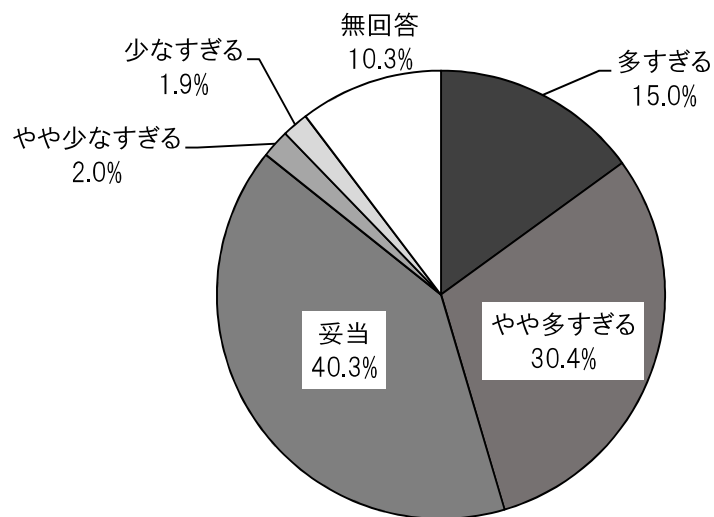
問５－２．生活の足としての飛島バス等を維持することで、飛島村内の交通空白地域は小さくなる一方で、それぞれの路線維持のために村の財源を投入しています。村の財源の投入による公共交通のサービス提供についてあなたは、どう思いますか？（１つに○）

- ・財源投入に対する意見としては、「公平性重視」が 47.2%の割合で選択され、「効率性重視」の 10.8%よりも大きく上回っている。



問5－3. 生活の足としての飛島バス等を維持するために1世帯当たり年間約48,266円の村の財源を投入しています。この投入額を、どう思いますか？（1つに○）

- ・村の財源の投入に対する評価としては、「妥当」との回答が**40.3%**と最も多いものの、「多すぎる」「やや多すぎる」の小計が**45.4%**となり、飛島バス等に対する投入額は多いとする村民は多い。
- ・2013年の調査時点では、「妥当」**34%**、「多すぎる」**20.4%**、「やや多すぎる」**33.9%**であり、「多い」との回答が**54.3%**で過半数が多いと回答していた。当時と比較すると、財源の投入に対しては、妥当とする回答が増え、事業維持に対する理解が高まっている。

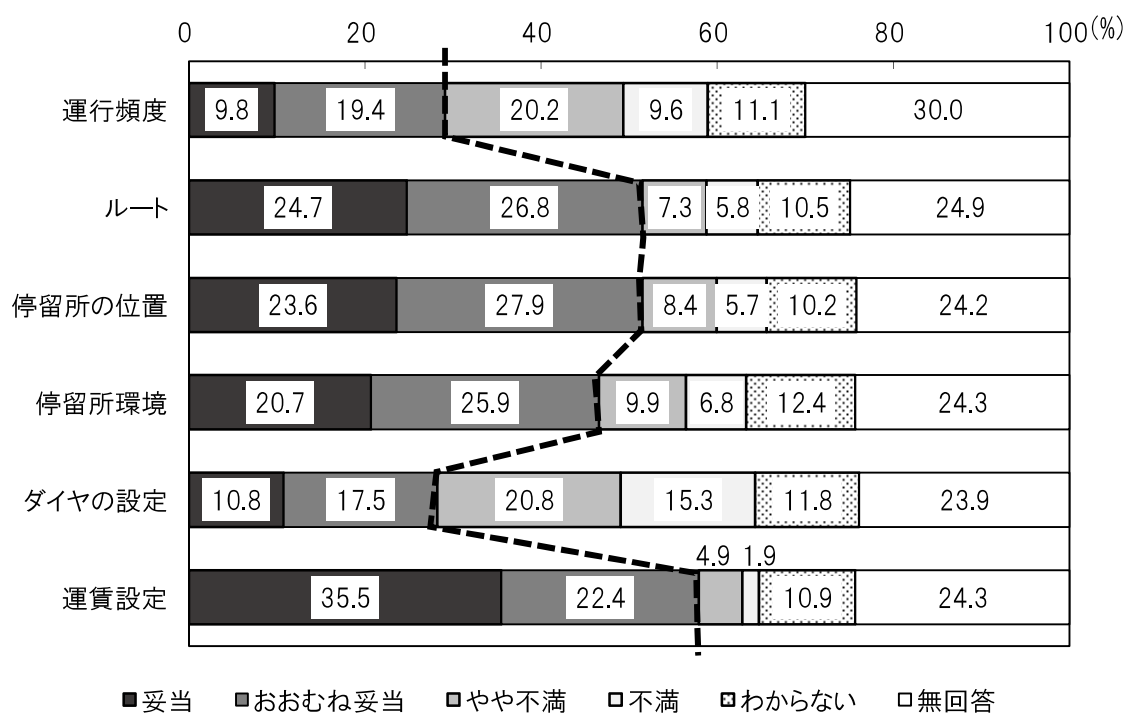


全体(SA) n=687

問５－４．生活の足としての飛島バス等のサービス水準は、妥当だと思いますか？ それぞれの路線毎に、①運行頻度から⑥運賃設定までそれぞれの評価する項目について、１～５の当てはまる番号に○をつけてください。（それぞれ１つに○）さらに、特に不満と思う点や改善すべき点等があればその内容をお書きください。

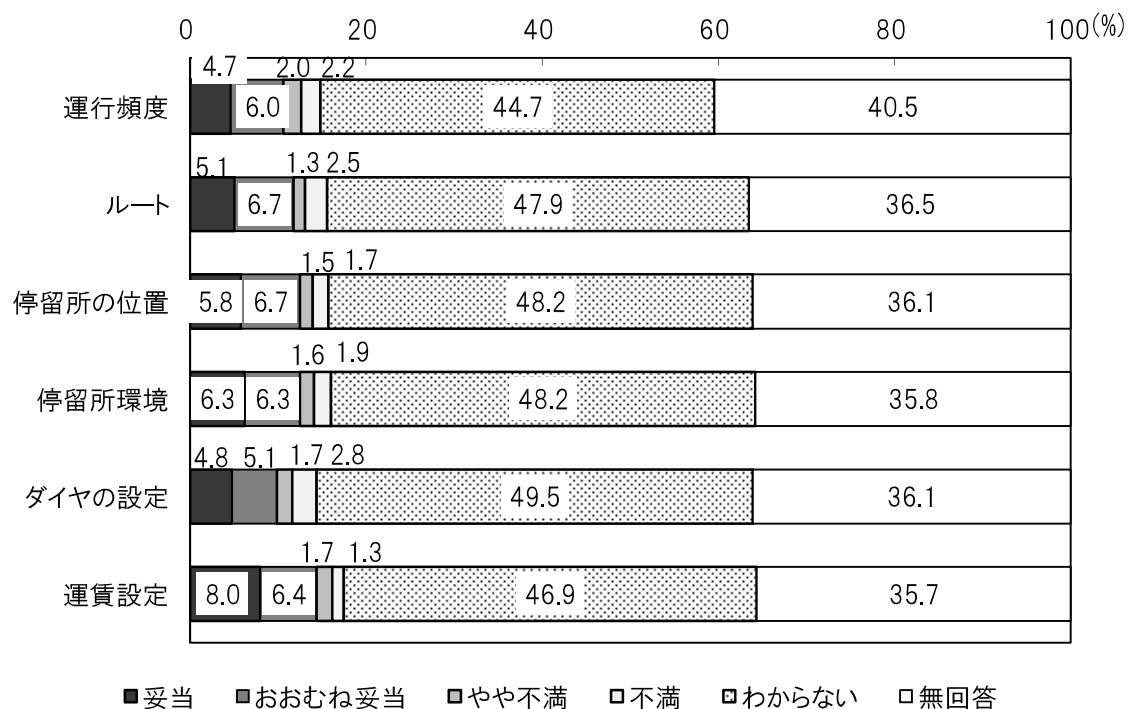
【飛島バス蟹江線】

- ・蟹江線のサービス水準の評価としては、「運行頻度」「ダイヤ設定」に対する満足度が他の項目と比べ低く、かつ、妥当より不満を選択する割合が多い。
- ・増便などに対するニーズが認められる。



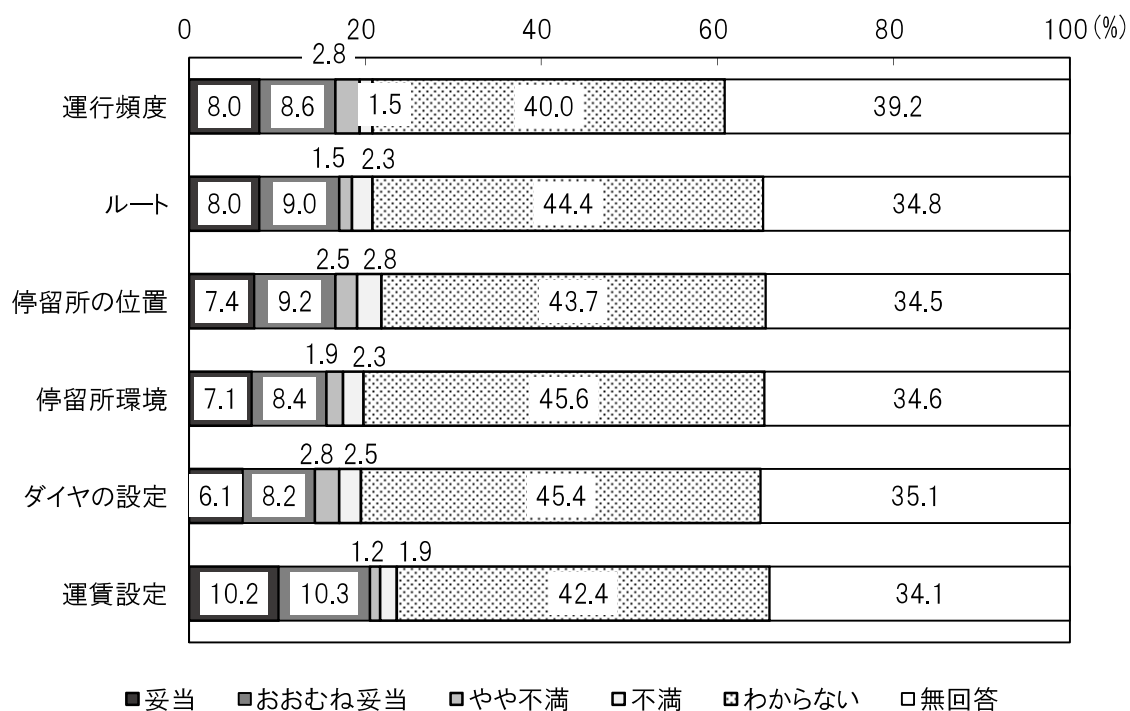
【飛島バス名港線】

- ・名港線のサービス水準の評価としては、「わからない」「無回答」の回答が8割を超えるため、評価が難しい。
- ・ただし、全ての項目で、不満より妥当を選択する割合が多い結果となった。



【海南病院通院支援タクシー】

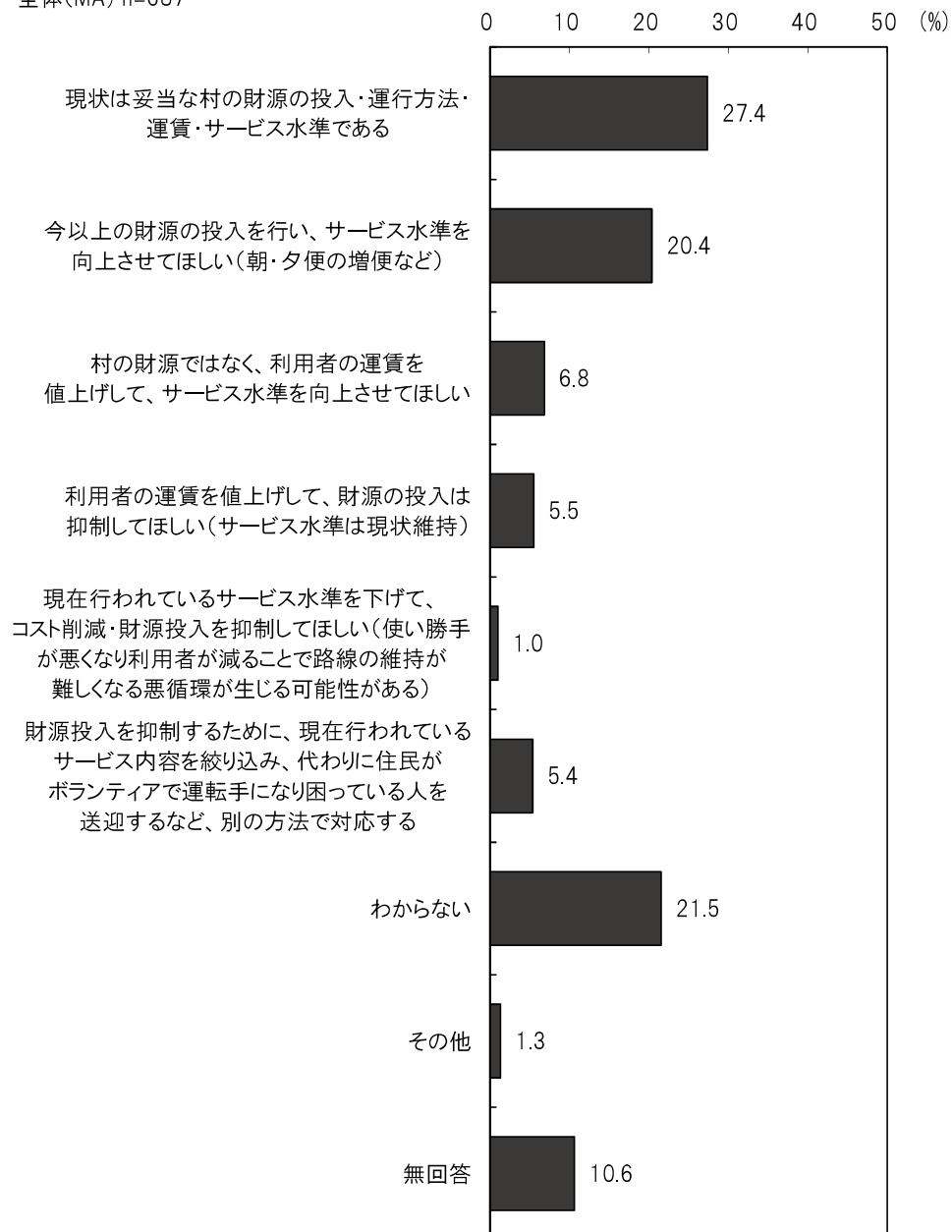
- ・海南病院通院支援タクシーのサービス水準の評価としては、「わからない」「無回答」の回答が7割を超え、名港線と同様に評価は難しい。
- ・ただし、全ての項目で、不満より妥当を選択する割合が多い結果となった。



問５－５．生活の足としての飛島バス等の運行にあたって、今後の村の財源の投入とこれら飛島村内の公共交通サービスの水準（運行方法、運賃設定や運行本数等）のあり方について、どのようにお考えですか？（１つに○）

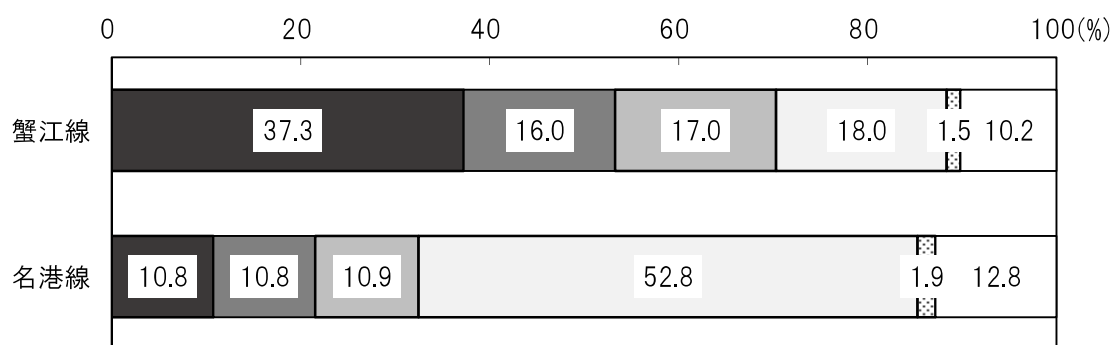
- ・村の財源の投入とサービス水準のバランスのあり方については、「現状は妥当である」が27.4%となり、2013年時点の23.8%の水準より、高い割合となった。
- ・その一方で、「今以上の村の財源の投入・サービス向上」を20.4%の割合で選択され、2013年時点の10.5%を、大きく上回る結果となった。
- ・2013年時点との比較では、「妥当」が3.6%増加している一方で、「抑制」の選択割合が減り、「村の財源の投入拡大」が9.9%増加していることから、財源投入によるサービス水準の拡大を期待する声が増えている。

全体(MA) n=687



問５－６．あなたは、「早朝の時間帯の混雑解消」のため、「増便」する必要があると思いますか？ 「蟹江線」「名港線」について、あなたの考えに近い回答を選んでください。（１つに○）

- ・早朝の時間帯の混雑解消・増便の必要性について、蟹江線については、「増便させるべき」との回答が 37.3%の割合で選択された。「運賃値上げを条件に増便させるべき」との回答割合 16.0%を加えると、過半数の住民が蟹江線の増便を賛同している。
- ・名港線については、「わからない」が過半数（52.8%）を占めており、蟹江線と対比すると、利用者も少なく生活に直結しないため、増便に対する意見は賛同が得られにくい結果となった。



- 新たな経費投入があるものの、利用者の利便性をよくするため、増便させるべき
- 新たな経費投入があるなら、「運賃値上げを条件」に、増便させるべき
- 新たな経費投入・運賃値上げが必要なら、「現状のまま」様子をみるべき
- わからない
- その他
- 無回答

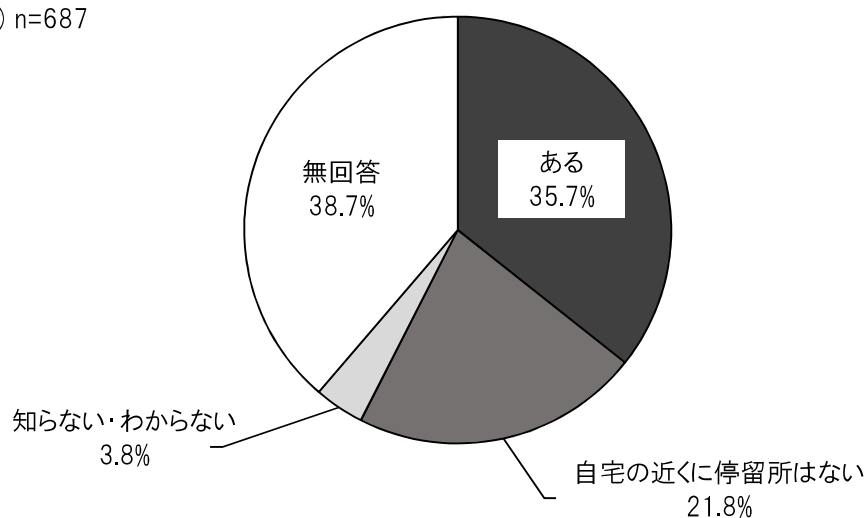
全体(SA) n=687

(6) 飛島バス等を「まったく利用しない人」への設問

問 6－1. あなたのお住まいの近くに停留所がありますか。（1つに○）

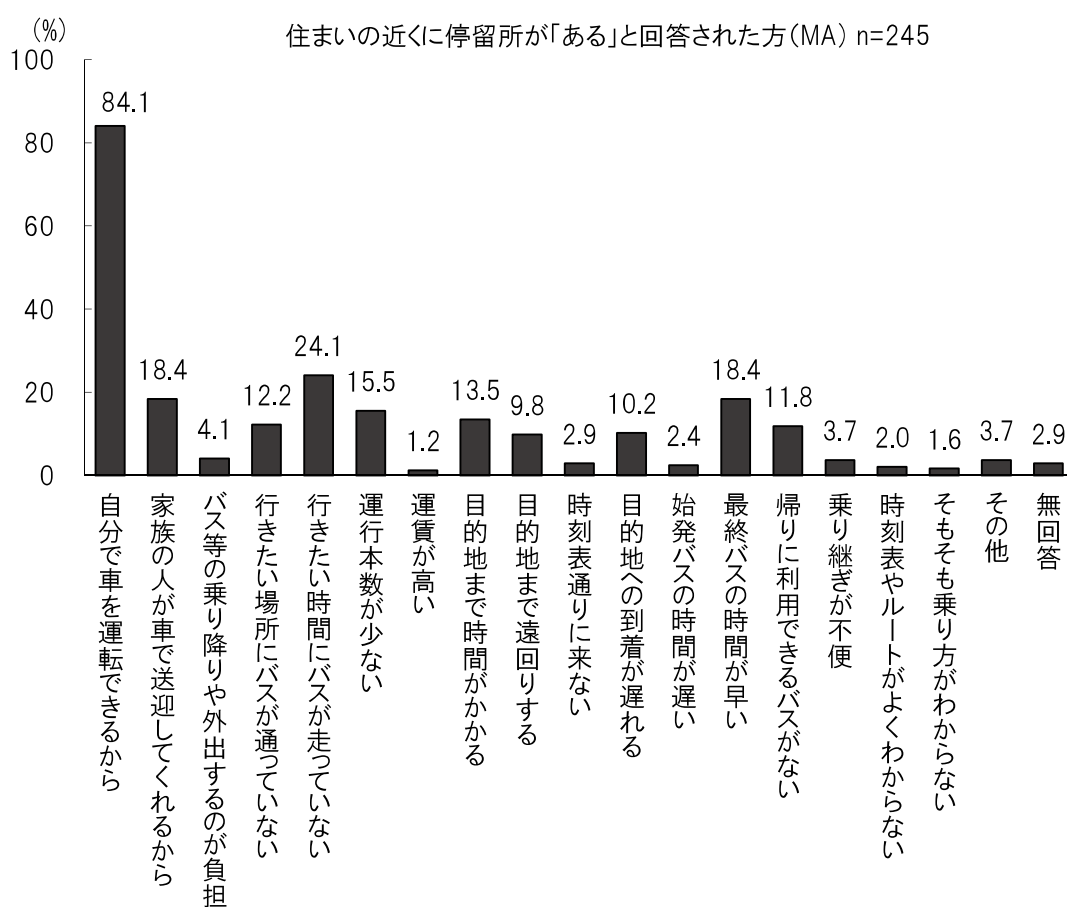
- ・ 飛島バス等を利用する人（当てはまらない人）が含まれる「無回答」者 $n=266$ を除いて整理すると、「自宅の近くに停留所がある」人は 245 件（58.2%）、「近くに停留所はない」人は 150 件（35.6%）、「知らない・わからない」人は 26 件（6.2%）となる。
- ・ 「まったく利用しない人」の内、過半数の 58.2%は、「近くに停留所がある」状態でも使っていない。

全体(SA) $n=687$



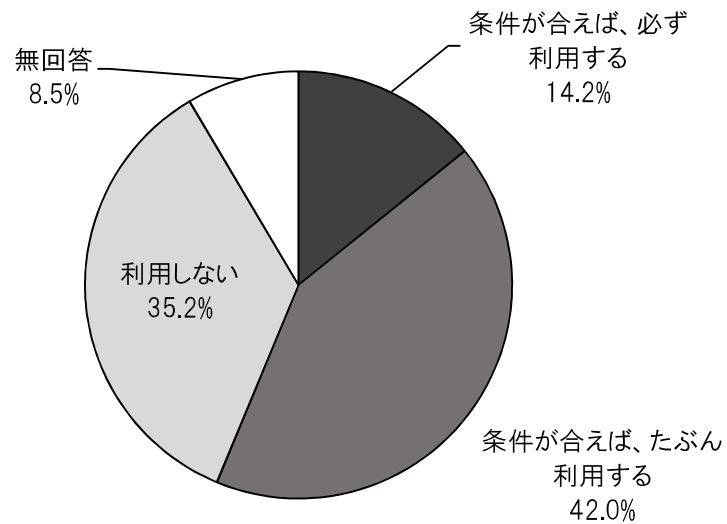
問 6－2. 上記問 6－1 で、1 を選択した人にお伺いします。あなたが「バス等を利用しない理由」をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○）

- ・「バス等を利用しない理由」は、「自分で車を運転できるから」を **84.1%**の人が選択している。
- ・2013 年時点との比較では、「自分で運転ができるから」の選択割合がやや減少したものの **88.2%**と、高い水準はかわらない。また、その他理由の「行きたい時間にバスが走っていない」「最終バスの時間が早い」などの割合は、前回と同水準であり変化がない。



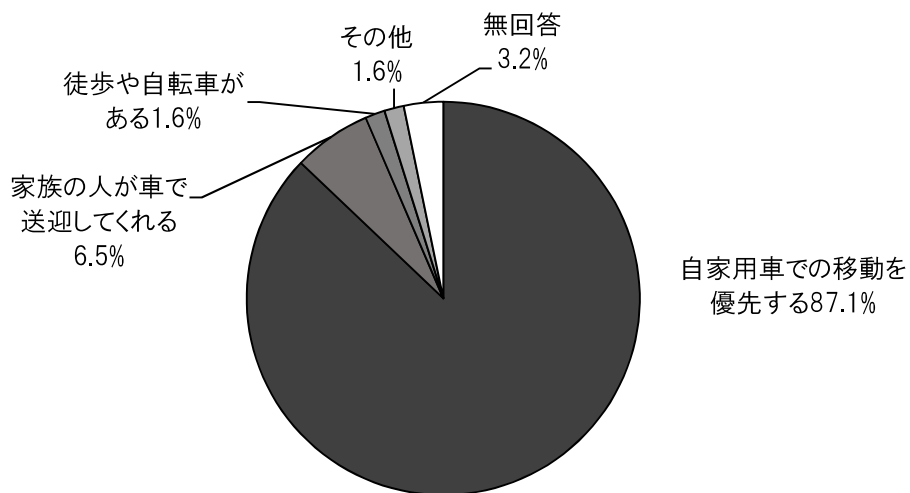
問6-3. 上記問6-1で、「2：近くに停留所はない」「3：知らない・わからない人」を選択した人にお伺いします。自宅近くに飛島バス等が運行されれば、あなたは利用しますか？（1つに○）

- ・利用転換の可能性としては、「利用する」人の割合が 56.2%で「利用しない」（35.2%）人よりも多い。



「自宅近くに停留所がない」「わからない」と回答された方(SA) n=176

【利用しない理由】

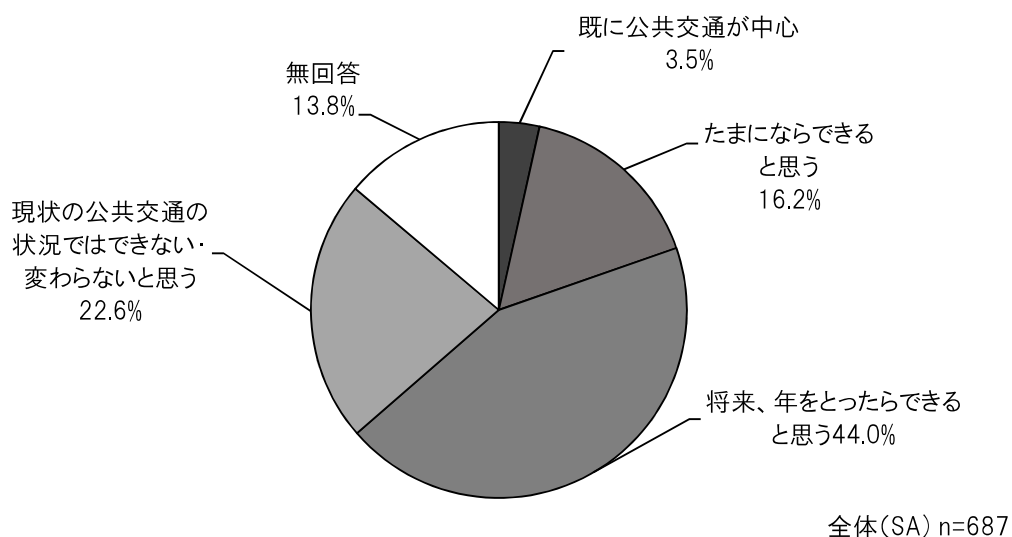


問6-3で「利用しない」と回答された方(SA) n=62

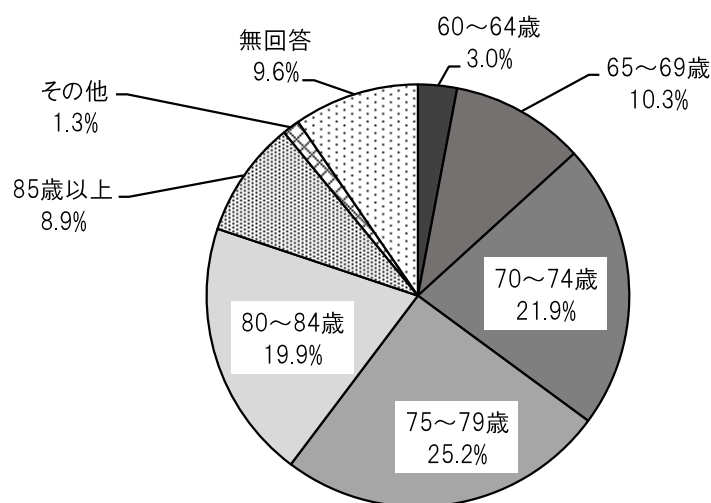
(7)公共交通の転換見通しについて

問 7－1. 公共交通の維持のためには、たくさんの人が利用する必要があります。あなた自身は、自家用車中心の生活から、公共交通中心の生活に転換できると思いますか？
(1つに○)

- ・利用転換の見通しについては、「現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う」(22.6%)よりも、「たまにならできる(16.2%)」「将来、年をとったらできると思う(44.0%)」の回答があわせて 60.2%となり、転換する可能性はある。
- ・2013 年時点との比較では、「現状の状況ではできない・変わらないと思う」との回答が 31.7%から 22.6%に大きく減少しており、より利用転換できる環境に変化したと言える。



- ・年齢別にみた転換する年齢期の回答傾向について、60歳未満までは、免許証更新における高齢者講習の受講制限となっている「70歳」が区切りとなっている。
- ・その一方で、60歳代は「75～79歳」、70歳以上は「80歳以上」で転換すると回答しており、自動車交通に頼った生活から、公共交通機関中心の生活へ転換するにはハードルが認められる回答結果となった。



問7-1で「将来、年をとったらできと思う」と回答された方(SA) n=302

			Q7-1-1 交通機関中心の生活へ転換する年齢								
		合計	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	その他	無回答	非該当
Q1-2 年齢	全体	302	3.0	10.3	21.9	25.2	19.9	8.9	1.3	9.6	
	20歳未満	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20歳代	13	15.4	30.8	23.1	0.0	23.1	7.7	0.0	0.0	
	30歳代	31	9.7	29.0	45.2	3.2	0.0	6.5	0.0	6.5	
	40歳代	54	7.4	22.2	37.0	16.7	3.7	0.0	1.9	11.1	
	50歳代	31	0.0	9.7	48.4	25.8	3.2	3.2	0.0	9.7	
	60～64歳	29	0.0	3.4	27.6	41.4	13.8	6.9	0.0	6.9	
	65～69歳	49	0.0	2.0	4.1	53.1	18.4	6.1	2.0	14.3	
	70～74歳	54	0.0	0.0	5.6	25.9	50.0	9.3	1.9	7.4	
	75歳以上	38	0.0	0.0	0.0	15.8	36.8	31.6	2.6	13.2	

公共交通(バス)に関する住民アンケート調査票

アンケート調査のご協力をお願い

日頃は行政運営に対して、格段の御理解と御協力を賜り深くお礼申し上げます。

飛島村では、平成 21 年 4 月から飛島公共交通バス（蟹江線・名港線）、同年 10 月から海南病院通院支援タクシーの運行を開始し、これまで適宜、ルートやダイヤの見直しを行ってきました。

運行開始から 10 年を迎え、将来の公共交通（バス）のあり方を再確認するため、このたび、住民の皆さまを対象に、外出状況や交通手段の実態、今後の公共交通（バス）施策に対する意向等、アンケート調査を実施させていただきます。

御多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨を御理解いただき御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、この調査票は統計的に処理し、個別の内容は公表いたしませんので、お答えいただいたことで御迷惑になることはございません。

令和元年9月

飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会 会長 久野 時男

調査対象	村内在住の 15 歳以上の住民の方の中から無作為で抽出した 1,500 名
お問合せ先	飛島村役場 総務部企画課 成田 TEL：0567-97-3462
送付先	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（飛島村が作業委託をしている業者） 研究開発部 TEL：052-307-1103

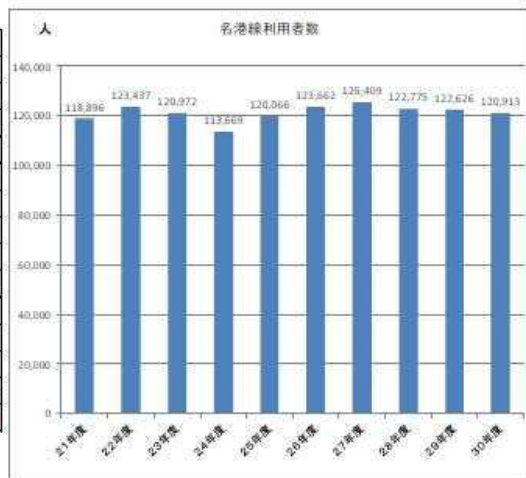
○世帯によっては、複数の方が調査対象になることがありますので、宛名のご本人さまがお答えくださるよう、お願いいたします。

○回答用紙は、返信用封筒に入れて、9月24日（火）までに投函してください。切手は不要です。

■飛島公共交通バス等の利用実績の推移

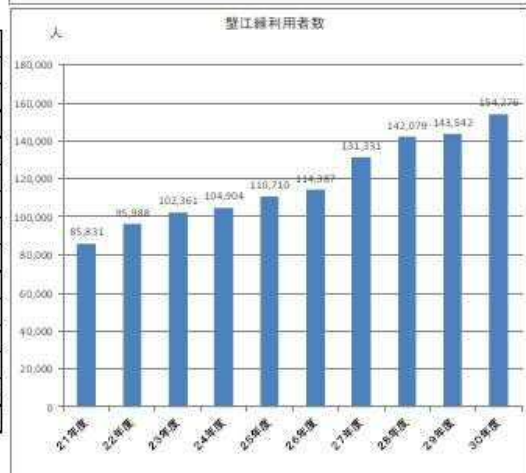
名港線利用者数

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
4月	10,361	11,387	10,740	10,053	10,504	10,196	11,309	10,753	10,656	9,951
5月	9,544	9,753	9,471	10,025	10,089	9,946	10,188	10,310	10,653	10,731
6月	11,408	11,473	11,311	10,515	10,002	10,870	11,501	11,732	12,082	10,616
7月	10,577	11,006	10,220	10,156	10,639	11,255	11,555	10,336	10,931	10,538
8月	9,157	10,160	10,499	9,280	9,415	9,752	9,663	9,950	10,212	9,627
9月	9,370	10,347	9,641	9,006	9,623	10,815	10,116	10,217	10,205	9,206
10月	10,305	10,247	10,232	10,180	11,292	11,106	10,991	10,184	10,374	11,376
11月	9,671	10,066	10,047	9,649	10,304	9,466	10,036	10,062	9,860	10,504
12月	9,012	9,431	9,495	8,373	9,230	9,656	9,552	9,467	9,536	9,745
1月	9,066	9,177	8,966	8,349	9,670	9,489	9,363	9,395	8,708	8,870
2月	9,528	9,547	10,133	8,764	9,379	9,775	10,193	9,394	9,133	9,679
3月	10,899	10,844	10,197	9,320	9,679	11,325	10,922	10,975	10,156	9,871
合計	110,886	123,437	120,972	113,669	120,066	123,662	125,409	122,775	122,626	120,913
増加率		3.8%	-2.0%	-6.0%	5.6%	3.0%	1.4%	-2.1%	-0.1%	-1.8%



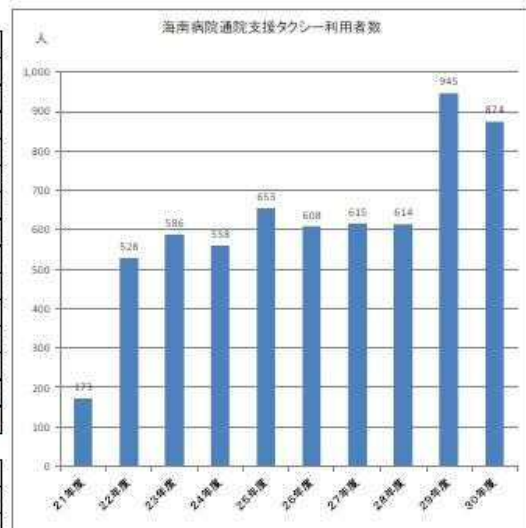
蟹江線利用者数

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
4月	7,184	8,588	8,853	8,604	9,454	9,846	11,324	12,060	12,599	12,239
5月	7,152	8,903	8,758	9,182	10,092	10,106	11,143	12,030	13,196	13,899
6月	7,963	8,751	9,484	9,426	10,077	10,363	12,231	13,038	13,435	14,077
7月	7,963	8,252	8,768	9,229	10,549	10,194	11,892	12,708	12,627	13,065
8月	6,161	7,106	7,751	8,252	8,183	7,910	9,664	11,190	11,103	11,497
9月	6,969	7,769	8,416	8,477	8,544	9,295	10,741	12,241	11,858	11,633
10月	7,520	8,125	9,082	9,267	9,538	10,154	11,576	12,876	12,033	14,690
11月	6,921	8,513	9,190	9,078	9,302	9,337	11,128	11,513	10,558	13,526
12月	7,298	7,932	8,506	8,803	8,876	9,653	10,559	11,857	12,212	12,687
1月	6,872	7,582	7,935	8,315	8,664	9,340	10,363	11,050	11,777	13,126
2月	6,833	7,373	7,881	7,947	8,567	8,865	10,072	10,141	10,656	11,714
3月	7,095	7,494	7,737	8,309	8,864	9,324	10,608	11,375	11,294	12,123
合計	85,831	95,988	102,361	104,904	110,710	114,387	131,331	142,079	143,542	154,276
増加率		11.8%	8.6%	2.5%	5.5%	3.3%	14.5%	8.2%	1.0%	7.5%



海南病院通院支援タクシー利用者数

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
4月		61	45	47	62	56	77	44	83	78
5月		35	49	44	50	41	37	84	83	79
6月		54	72	43	52	50	66	52	89	84
7月		70	52	40	85	75	54	47	71	50
8月		37	59	50	84	48	49	45	89	48
9月		37	70	42	40	65	40	43	72	76
10月	50	28	39	39	44	65	47	36	71	87
11月	20	56	46	58	45	42	42	41	105	84
12月	19	38	35	58	40	56	49	46	51	74
1月	26	30	48	35	39	25	45	41	92	71
2月	29	36	33	50	62	34	53	68	70	79
3月	29	46	39	52	50	51	56	85	69	64
合計	170	528	586	558	653	608	615	614	945	874
増加率		205.2%	11.0%	-4.8%	17.0%	-8.9%	1.2%	-0.2%	53.9%	-7.3%



タクシー乗車者	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
運行回数	147	458	468	472	551	529	542	538	764	708
乗車者(人・回)	1,177	1,153	1,252	1,182	1,185	1,149	1,135	1,141	1,237	1,233

公共交通（バス）に関する住民アンケート 回答用紙

問1. はじめに、あなたご自身のことについてお伺いします。(1つに○)

性別は？	1: 男性 2: 女性
年齢は？	1: 20歳未満 2: 20歳代 3: 30歳代 4: 40歳代 5: 50歳代 6: 60～64歳 7: 65～69歳 8: 70～74歳 9: 75歳以上
お住まいは？	1: 大用水 2: 中江 3: 汐除 4: 南竹之郷 5: 北竹之郷 6: 南枕江 7: 北枕江 8: 中用水 9: 上用水 10: 梅之郷 11: 三福 12: 笹之郷 13: 泉之郷 14: 古台 15: 大宝西 16: 大宝東 17: 重宝 18: 八島 19: 北古政 20: 南古政 21: 西新政 22: 東新政 23: 北新政 24: 木場一 25: 木場二 26: 金岡 27: 東浜一 28: 東浜二 29: 東浜三 30: 西浜
職業は？	1: 自営業 2: 会社員 3: 公務員 4: パート・アルバイト 5: 主夫・主婦 6: 学生・生徒 7: 無職 8: その他 ()
自動車免許はお持ちですか？	1: 持っている 2: 持っていない
自家用車はお持ちですか？	1: 自由に使える車がある 2: 家族で共有している 3: 持っていない
外出(通勤・通学含む)については？	1: 外出には困難を感じない 2: 杖などを使用して外出 3: 介助を必要とする 4: 外出は困難な状況である

問2. 外出(通勤・通学含む)の頻度や目的についてお伺いします。

問2-1. あなたは、どの程度の頻度で「外出」しますか。(1つに○)

1: 1週間のほぼ毎日	2: 平日はほぼ毎日	3: 週に3～4日
4: 週に1～2日	5: 1ヶ月に数日	6: 年に数日 7: その他

問2-2.「通勤・通学」「買い物や娯楽」「通院」の時の、それぞれの最も行く目的地について、頻度、交通手段、名前・場所、外出の時間帯を教えてください。
 (「通勤」には、自営・農業等を含みます)

		外出する頻度は？ (1つに○をつけてください)		その時の「交通手段」は？ (該当するすべての番号に○をつけてください)	
問(1) 「通勤・通学」 の場合	➡	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (下の問(2)へ)	➡	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車(自分で運転) 6: 自家用車(送迎) 7: 飛鳥バス(蟹江線) 8: 飛鳥バス(名港線) 9: 近鉄 10: 地下鉄 11: あおなみ線 12: その他()	➡
問(2) 「買い物や 娯楽」 の場合	➡	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (下の問(3)へ)	➡	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車(自分で運転) 6: 自家用車(送迎) 7: 飛鳥バス(蟹江線) 8: 飛鳥バス(名港線) 9: 近鉄 10: 地下鉄 11: あおなみ線 12: その他()	➡
問(3) 「病院や 福祉施設」を 利用する場合	➡	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (4頁の問3へ)	➡	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車(自分で運転) 6: 自家用車(送迎) 7: 飛鳥バス(蟹江線) 8: 飛鳥バス(名港線) 9: 海南病院通院支援タクシー 10: 近鉄 11: 地下鉄 12: あおなみ線 13: その他()	➡

「目的地」はどこですか？ 場所を教えてください。（該当するすべての番号に○をつけてください）		外出の「時間帯」は？ （該当するすべての番号に○をつけてください）	
場所		出発の時間帯	帰宅の時間帯
1: 飛島村内 2: 名古屋市 3: 蟹江町 4: 弥富市 5: 尾張北西部 6: その他 ()	➡	1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 () 時	1: 12時台 2: 13時台 3: 14時台 4: 15時台 5: 16時台 6: 17時台 7: 18時台 8: 19時台 9: 20時台 10: その他 () 時
1: 飛島村内 2: 名古屋市 3: 蟹江町 4: 弥富市 5: 尾張北西部 6: その他 ()	➡	1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 () 時	1: 12時台 2: 13時台 3: 14時台 4: 15時台 5: 16時台 6: 17時台 7: 18時台 8: 19時台 9: 20時台 10: その他 () 時
1: 飛島村内 2: 名古屋市 3: 蟹江町 4: 弥富市 5: 尾張北西部 6: その他 ()	➡	1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 () 時	1: 12時台 2: 13時台 3: 14時台 4: 15時台 5: 16時台 6: 17時台 7: 18時台 8: 19時台 9: 20時台 10: その他 () 時

問3. 日常の移動に対する意識についてお伺いします。

問3-1. 日常の公共交通での移動に不便を感じていますか？ (1つに○)

1: 感じている 2: やや感じている 3: あまり感じていない 4: 感じていない

→ 上記問3-1で、1 または 2 を選択した、日常の公共交通での移動に不便を感じている人にお伺いします。

不便に感じる理由は何ですか？（3つまでに○）

- 1: 自宅からバス停留所までが遠い
- 2: 利用できるバス停留所があっても運行本数が少ない・行き先が目的にあわない
- 3: 通常のタクシーが利用できるが、料金が安い
- 4: 家族等に送迎してもらう必要があり、家族等に遠慮がある
- 5: 介助や杖を必要とする・外出そのものが困難な状況である
- 6: 車の方が公共交通と比べて便利
- 7: その他（ ）

問3-2.「公共交通(バス・タクシー)の停留所がない」または「利用しづらい」ために、
外出を控えたことがありますか？ (1つに○)

1: よくある 2: たまにある 3: ない

問4. バス等の利用実態とその満足度についてお伺いします。

問4-1. 飛島村内のバス等の公共交通の利用状況についてお伺いします。

(1)あなたは村内の公共交通について、知っていますか？

公共交通	それぞれ知っていますか？（それぞれ1つに○）
蟹江駅と結ぶ 「飛島バス 蟹江線」	1: 利用したことがあり、知っている。 2: 利用したことがないが運行していることは知っている。 3: 知らない。
名古屋港と結ぶ 「飛島バス 名港線」	1: 利用したことがあり、知っている。 2: 利用したことがないが運行していることは知っている。 3: 知らない。
海南病院と結ぶ 「海南病院通院支援タクシー」	1: 利用したことがあり、知っている。 2: 利用したことがないが運行していることは知っている。 3: 知らない。

(2)あなたは村内の公共交通をどの程度利用されますか？（1つに○）

- 1: 週に3日以上 2: 週に1～2日 3: 1ヶ月に数日 4: 年に数日
5: ほとんど乗らない ・・・・（問4－2へ）

(3)主な利用目的をお答えください。（2つまで○）

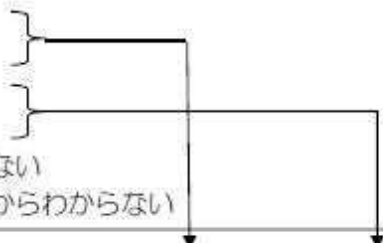
- 1: 通勤 2: 通学 3: 買い物 4: 塾・習い事 5: 趣味・娯楽
6: 通院 7: 福祉施設の利用 8: その他公共施設の利用
9: その他（ ）

(4)主に利用する公共交通をお答えください。（2つまで○）

- 1: 飛島バス（蟹江線）
2: 飛島バス（名港線）
3: 海南病院通院支援タクシー
4: その他（ ）

問4－2. 現状の飛島村内の公共交通のサービス水準（運行本数、ルート等）について、
満足していますか？（1つに○）
また、その満足・不満の理由をお答えください。

- 1: 満足
2: おおむね満足
3: やや不満
4: 不満
5: バスを必要としない
6: 利用していないからわからない



満足な理由は？（3つまで○）

- 1: 目的地に直接行ける
2: 目的地まで早く行ける
3: 自宅から停留所までが近い
4: 乗りたい時間に運行している
5: 運賃が安い
6: 座れる
7: 時間通りに来て予定が組みやすい
8: 利用方法が簡単
9: バス以外に交通手段がない
10: その他（ ）

不満な理由は？（3つまで○）

- 1: 目的地に直接行けない
2: 目的地まで早く行けない（時間がかかる）
3: 自宅から停留所までが遠い
4: 乗りたい時間に運行していない
5: 運賃が高い
6: 座れない
7: 時間が読めない。予定が組みにくい
8: 利用方法を知らない・難しい
9: 車などのバス以外の交通手段がある
10: その他（ ）

問5. 飛島村の公共交通(バス)事業についてお伺いします。

問5-1. 飛島村では平成21年から皆さまの生活の足としての「飛島バス(蟹江線・名港線)・海南病院通院支援タクシー(以下「飛島バス等」といいます。)」の運行を開始しました。

(1) 飛島バス等の運行により、あなたの生活環境について何らかの変化があったと思いますか。選択肢の中から、あてはまる番号を全て選んでください。(すべてに○)

- 1: バス交通が無い交通空白地域が解消され、どの地域も移動の「公平性」が確保された
- 2: 安全に移動できる環境が確保され、「安心感」を持つことができたと思う
- 3: 新しい交通手段を利用できる環境が確保され、「便利」になったと思う
- 4: 何も変わらない
- 5: わからない

(2) 飛島バス等の運行をきっかけに、あなたの生活の中で、外出する機会が増えましたか。選択肢の中から、あてはまる番号を選んでください。(1つに○)

- 1: 外出する機会が増えた
- 2: 何も変わらない
- 3: わからない
- 4: その他()

(3) 飛島バス等の運行をきっかけに、あなたの生活の中で、移動手段・行動について変化がありましたか。選択肢の中から、あてはまる番号を選んでください。(1つに○)

- 1: 地域公共交通を積極的に利用するようになった
- 2: 何も変わらない
- 3: わからない
- 4: その他()

(4) これまで、飛島バス等の利用を促すために、村によりさまざまな取り組みを行ってきました。

選択肢のなかで、知っている取り組みがありましたら、あてはまるものすべてに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1: バスロケーションシステムを導入し、インターネット上で運行状況が確認できる
- 2: 停留所付近に「自転車駐輪場」を確保し、バス利用環境を向上させている
- 3: ふるさとフェスタのイベントブースでの飛島バスの体験・PR活動を行っている
- 4: バス感謝デー(平成31年3月24日実施)の無料バス運行の取り組みを行っている
- 5: 村が発行する時刻表やホームページによる広報活動
- 6: 老人クラブなどの出張訪問による広報活動
- 7: その他()

飛島村では、平成 30 年度、飛島バス等に対して、運賃等を除いた運行委託費として、約 8,268 万円を交通事業者に支払い、公共交通の維持のために村の財源を投入しています。

各路線別の収支構造は次のとおりです。

<平成 30 年度の実績>

(H31.4.1 現在 1,713 世帯)

	事業経費 A	収 入 B	国庫補助金 C	運行委託費 A-B-C	1 世帯 当たり
飛島バス (蟹江線)	約 7,502 万円	約 2,934 万円	約 1,039 万円	約 3,529 万円	約 20,601 円
飛島バス (名港線)	約 11,483 万円	約 5,733 万円	約 1,192 万円	約 4,558 万円	約 26,608 円
海南病院通院 支援タクシー	約 225 万円	約 44 万円	—	約 181 万円	約 1,057 円
小 計	約 19,210 万円	約 8,711 万円	約 2,231 万円	約 8,268 万円	約 48,266 円

※事業経費 A・・・飛島バス等の運行に必要な経費（三重交通等に対する委託費用）

※収 入 B・・・運賃や定期券収入

※国庫補助金 C・・・国からの補助金

※運行委託費・・・村が負担している費用（村の財源）

問5-2. 生活の足としての飛島バス等を維持することで、飛島村内の交通空白地域は小さくなる一方で、それぞれの路線維持のために村の財源を投入しています。村の財源の投入による公共交通のサービス提供についてあなたは、どう思いますか？（1つに○）

- 1: 村の財源で村内全域をカバーすることは、「公平性」の観点から賛成である。「公平性重視」
- 2: サービスごとに利用者数や村の財源の投入額が異なることから、逆に「不公平」となる。事業性の悪いサービスは、廃止も含めて改善すべき。「効率性重視」
- 3: 公平性・効率性のどちらを重視すればよいのかわからない
- 4: その他（ ）

問5-3. 生活の足としての飛島バス等を維持するために 1 世帯当たり年間約 48,266 円の村の財源を投入しています。この投入額を、どう思いますか？（1つに○）

- 1: 多すぎる 2: やや多すぎる 3: 妥当 4: やや少なすぎる 5: 少なすぎる

問5-4. 生活の足としての飛島バス等のサービス水準は、妥当だと思いますか？

それぞれの路線毎に、①運行頻度から⑥運賃設定までそれぞれの評価する項目について、1～5の当てはまる番号に○をつけてください。（それぞれ1つに○）
さらに、特に不満と思う点や改善すべき点等があればその内容をお書きください。

評価する項目	選択肢	飛島バス 蟹江線	飛島バス 名港線	海南病院通院 支援タクシー
①運行頻度	1: 妥当 2: おおむね妥当 3: やや不満 4: 不満 5: わからない	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
②ルート	同上	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
③停留所の位置	同上	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
④停留所環境	同上	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑤ダイヤの設定	同上	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
⑥運賃設定	同上	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
↓ ↓ ↓				
特に不満と思う点や 改善すべき点があれば、 その内容をお書きください。				

問5-5. 生活の足としての飛島バス等の運行にあたって、今後の村の財源の投入とこれら飛島村内の公共交通サービスの水準（運行方法、運賃設定や運行本数等）のあり方について、どのようにお考えですか？（1つに○）

1: 現状は妥当な村の財源の投入額・運行方法・運賃・サービス水準である
2: 今以上の村の財源の投入を行い、サービス水準を向上させてほしい（朝・夕便の増便など）
3: 村の財源ではなく、利用者の運賃を値上げして、サービス水準を向上させてほしい
4: 利用者の運賃を値上げして、村の財源の投入は抑制してほしい（サービス水準は現状維持）
5: 現在行われているサービス水準を下げて、コスト削減・村の財源の投入を抑制してほしい （使い勝手が悪くなり利用者が減ることによって路線の維持が難しくなる悪循環が生じる可能性がある）
6: 村の財源の投入を抑制するために、現在行われているサービス内容を絞り込み、代わりに住民がボランティアで運転手になり困っている人を送迎するなど、別の方法で対応する
7: わからない
8: その他（_____）

飛島公共交通バス（蟹江線・名港線）では、早朝便の利用が多く、非常に混雑している状況にあります。

一部利用者からは、『増便をしてほしい』との指摘がされています。

問5-6. あなたは、「早朝の時間帯の混雑解消」のため、「増便」する必要があると思いますか？

「蟹江線」について、あなたの考えに近い回答を選んでください。（1つに○）

- 1: 新たな経費投入があるものの、利用者の利便性をよくするため、増便させるべき
- 2: 新たな経費投入があるなら、「運賃値上げを条件」に、増便させるべき
- 3: 新たな経費投入・運賃値上げが必要なら、「現状のまま」様子を見るべき
- 4: わからない
- 5: その他（ ）

「名港線」について、あなたの考えに近い回答を選んでください。（1つに○）

- 1: 新たな経費投入があるものの、利用者の利便性をよくするため、増便させるべき
- 2: 新たな経費投入があるなら、「運賃値上げを条件」に、増便させるべき
- 3: 新たな経費投入・運賃値上げが必要なら、「現状のまま」様子を見るべき
- 4: わからない
- 5: その他（ ）

問6. 飛島バス等を「まったく利用しない人」だけにお伺いします。

※飛島バス等を利用する人（当てはまらない人）は、次の問7にお進みください。

問6-1. あなたのお住まいの近くに停留所がありますか。（1つに○）

- 1: ある・・・・・・・・・・・・・・・・問6-2を回答ください
- 2: 自宅の近くに停留所はない
- 3: 知らない・わからない

}・・・・問6-3を回答ください

問6-2. 上記問6-1で、1を選択した人にお伺いします。あなたが「バス等を利用しない理由」をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1: 自分で車を運転できるから | 2: 家族の人が車で送迎してくれるから |
| 3: バス等の乗り降りや外出するのが負担 | 4: 行きたい場所にバスが通っていない |
| 5: 行きたい時間にバスが走っていない | 6: 運行本数が少ない |
| 7: 運賃が高い | 8: 目的地まで時間がかかる |
| 9: 目的地まで遠回りする | 10: 時刻表通りに来ない |
| 11: 目的地への到着が遅れる | 12: 始発バスの時間が遅い |
| 13: 最終バスの時間が早い | 14: 帰りに利用できるバスがない |
| 15: 乗り継ぎが不便 | 16: 時刻表やルートがよくわからない |
| 17: そもそも乗り方がわからない | |
| 18: その他（ ） | |

問6-3. 上記問6-1で、「2:近くに停留所はない」「3:知らない・わからない人」を選択した人にお伺いします。

自宅近くに飛島バス等が運行されれば、あなたは利用しますか？

(1つに○)

- 1: 条件が合えば、必ず利用する
- 2: 条件が合えば、たぶん利用する
- 3: 利用しない

※利用しない理由は？

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ア) 自家用車で移動を優先する | イ) 家族の人が車で送迎してくれる |
| ロ) 徒歩や自転車がある | リ) その他 () |

問7. 公共交通の転換見通しについてお伺いします。

問7-1. 公共交通の維持のためには、たくさんの方が利用する必要があります。

あなた自身は、自家用車中心の生活から、公共交通中心の生活に転換できると思いますか？ (1つに○)

- 1: 既に公共交通が中心
- 2: たまにならできると思う
- 3: 将来、年をとったらできると思う

※何歳になったら公共交通に転換しようと思いますか？

- | | | | |
|------------|------------|--------------|------------|
| ア) 60~64 歳 | イ) 65~69 歳 | ロ) 70~74 歳 | リ) 75~79 歳 |
| ハ) 80~84 歳 | ニ) 85 歳以上 | ホ) その他 () 歳 | |

- 4: 現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う

以上でアンケートは終了です。

公共交通(バス等)への、ご意見などがありましたらお書きください。

同封の返信用封筒に回答用紙を入れて、切手を貼らずに、
令和元年9月24日(火)までに投函してください。